

令和5年台風第7号に伴う大雨による 近畿地方の河川の概要

《第3報》

令和5年8月22日

国土交通省 近畿地方整備局
河川部

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

事前の対応

大阪管区気象台との共同説明会

○台風第7号の影響により、近畿地方において、激しい降雨等が予測されていた。
○そのため、近畿地方整備局においては、大阪管区気象台と共同説明会を開催し、注意喚起を実施。

気象台との共同説明会

【日時】令和5年8月14日(月) 11:00~
【場所】大阪管区気象台大会議室(会場形式とオンライン形式の併用)



近畿地方整備局 道路部 道路管理課長補佐
近畿地方整備局 河川部 水災害予報センター長
近畿地方整備局 総括防災調整官
大阪管区気象台 気象防災部 予報課 主任予報官

1. 台風の接近に伴い

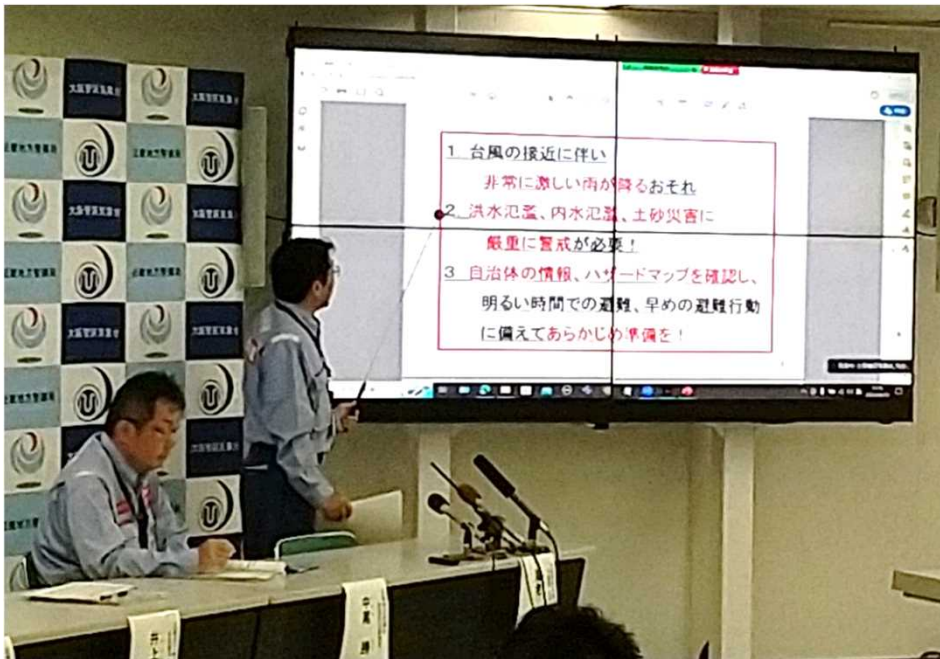
非常に激しい雨が降るおそれ

2. 洪水氾濫、内水氾濫、土砂災害に

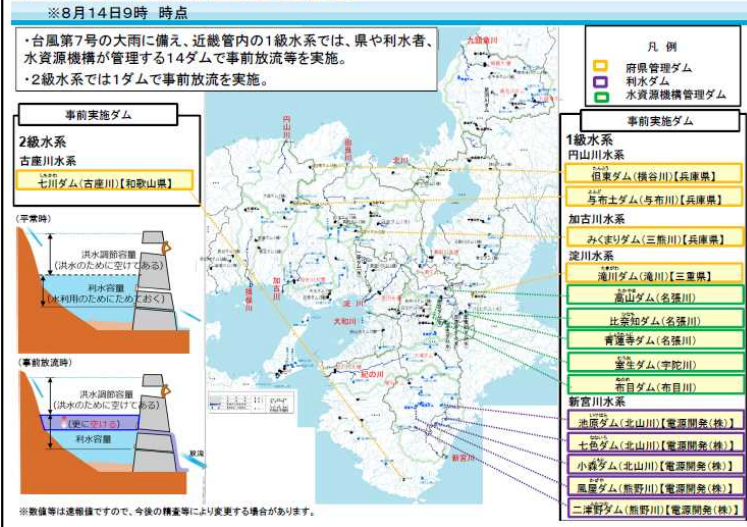
厳重に警戒が必要!

3. 自治体の情報、ハザードマップを確認し、

明るい時間での避難、早めの避難行動に備えてあらかじめ準備を!



ダムの事前放流の実施状況



ダムの事前放流の実施状況

※8月16日9時00分 時点

- ・台風第7号の大雨に備え、近畿管内の1級水系では、県や利水者、水資源機構が管理する19ダムで事前放流を実施。
- ・2級水系では1ダムで事前放流を実施。

凡例

- 府県管理ダム
- 利水ダム
- 水資源機構管理ダム

事前放流実施ダム

1級水系
円山川水系

- 但東ダム(横谷川)【兵庫県】
- 大路ダム(大路川)【兵庫県】
- 与布土ダム(与布土川)【兵庫県】

由良川水系

- 大野ダム(由良川)【京都府】
- 和知ダム(由良川)【関西電力(株)】
- 畑川ダム(畑川)【京都府】

事前放流実施ダム

1級水系
加古川水系

- みくまりダム(三熊川)【兵庫県】

大和川水系

- 天理ダム(布留川)【奈良県】

淀川水系

- 滝川ダム(滝川)【三重県】
- 高山ダム(名張川)【水資源機構】
- 比奈知ダム(名張川)【水資源機構】
- 青蓮寺ダム(名張川)【水資源機構】
- 室生ダム(宇陀川)【水資源機構】
- 布目ダム(布目川)【水資源機構】

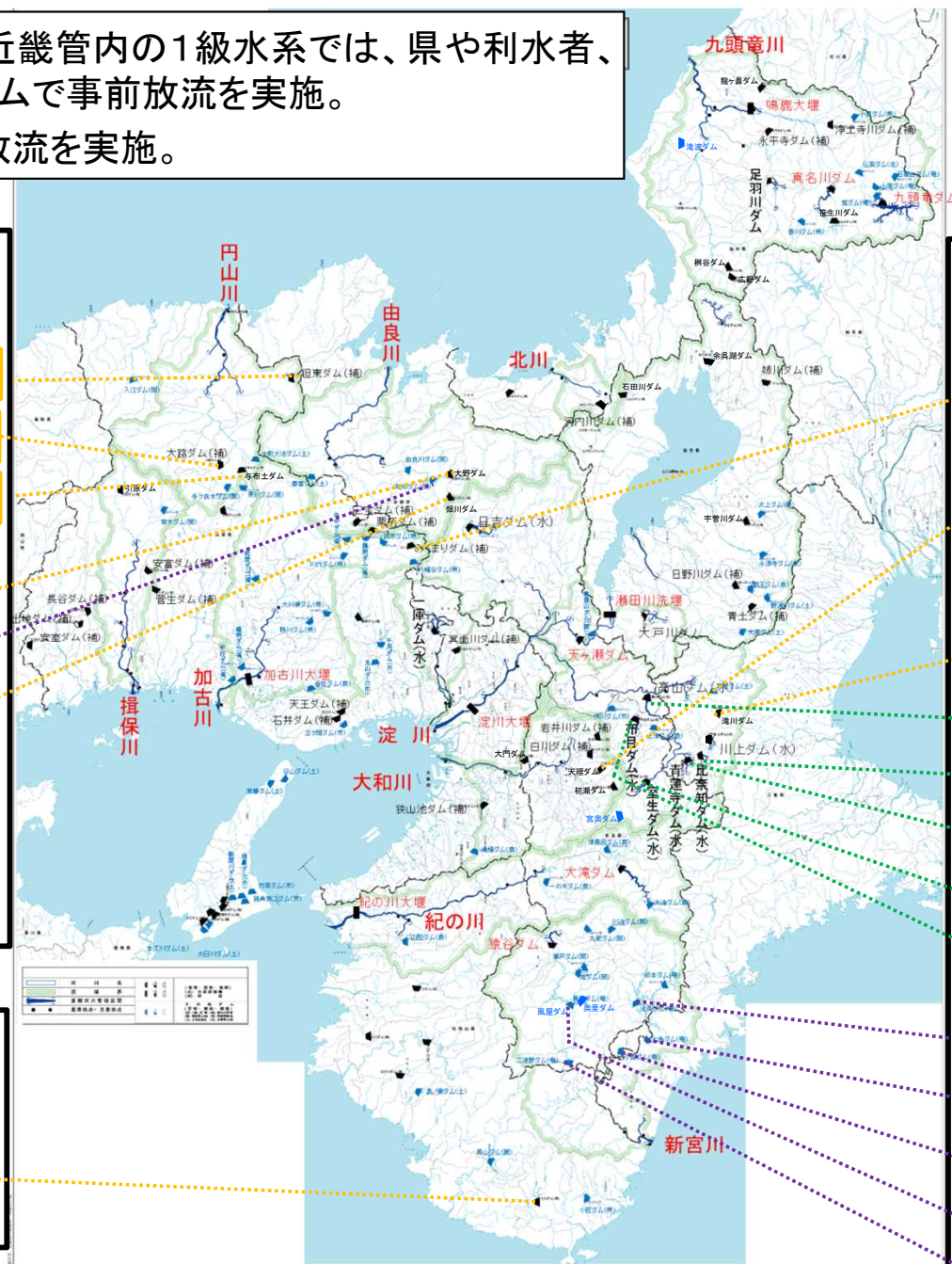
新宮川水系

- 池原ダム(北山川)【電源開発(株)】
- 七色ダム(北山川)【電源開発(株)】
- 小森ダム(北山川)【電源開発(株)】
- 風屋ダム(熊野川)【電源開発(株)】
- 二津野ダム(熊野川)【電源開発(株)】

事前放流実施ダム

2級水系
古座川水系

- 七川ダム(古座川)【和歌山県】



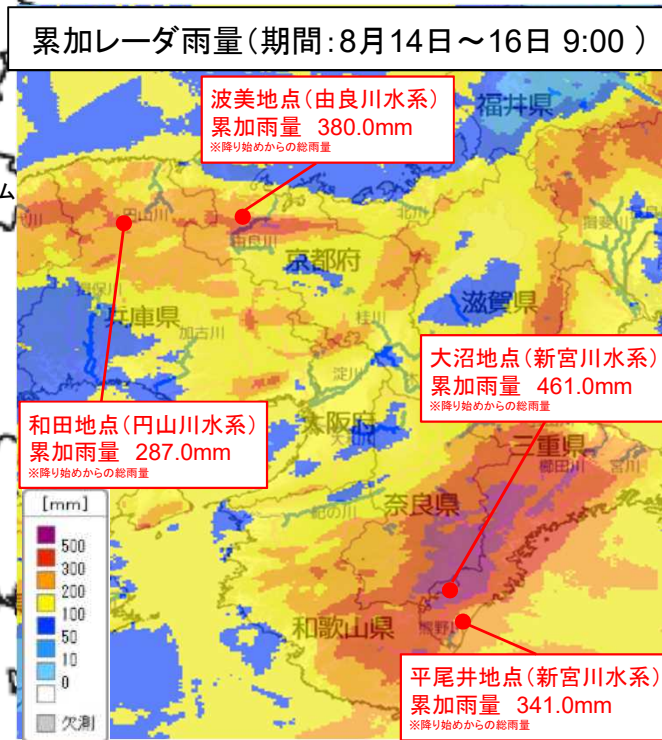
※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

近畿地方の河川の概要

※8月16日9時00分 時点

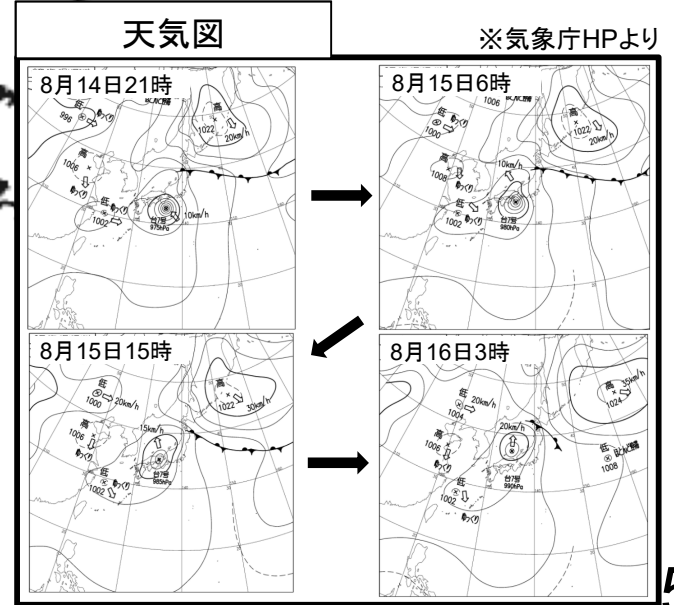
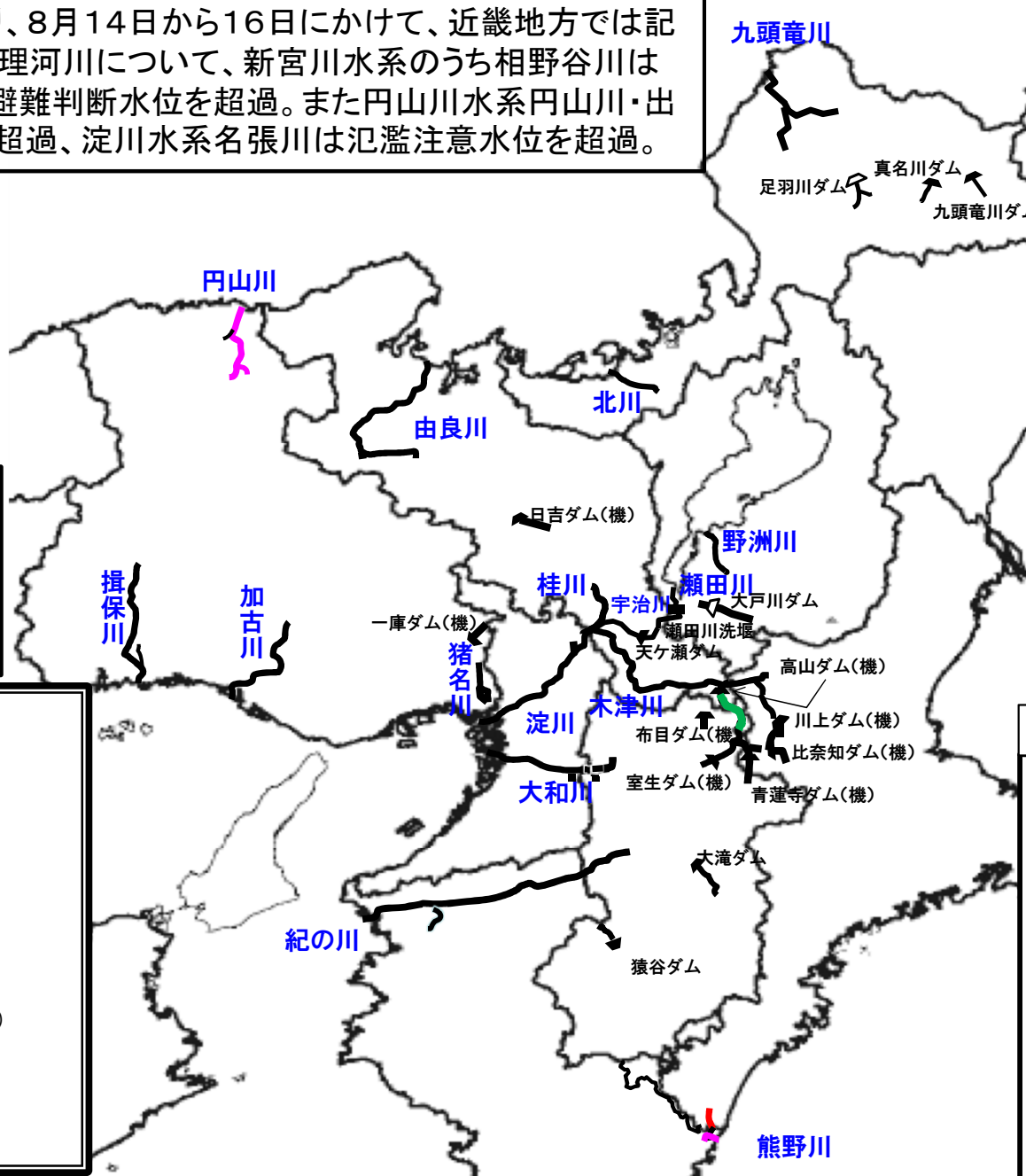
国管理河川の水位状況

台風第7号の影響により、8月14日から16日にかけて、近畿地方では記録的な大雨となり、国管理河川について、新宮川水系のうち相野谷川は計画高水位、市田川は避難判断水位を超過。また円山川水系円山川・出石川は避難判断水位を超過、淀川水系名張川は氾濫注意水位を超過。



- 凡例**
- 計画高水位超過
 - 避難判断水位超過
 - 氾濫注意水位超過

- <国管理河川>**
- ※()内は水位観測所
 - ● 計画高水位超過
 - 【新宮川水系】相野谷川(高岡)
 - ● 避難判断水位超過
 - 【新宮川水系】市田川(下田)
 - 【円山川水系】円山川(立野)、出石川(弘原)
 - ● 氾濫注意水位超過
 - 【淀川水系】名張川(名張)



— : 河川 ▲ : ダム △ : 建設中ダム (機) : (独)水資源機構ダム
 ※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

※8月16日9時00分 時点

府県管理河川(近畿地整管内)のうち氾濫危険水位を超過した河川は15河川となった。

河川出水状況(府県管理河川)

● 氾濫危険水位超過

福井県<1河川>

【しよのかわ 笙の川水系】しよのかわ 笙の川

京都府<6河川>

【さいかわ 由良川水系】さいかわ 犀川【わくかわ 由良川水系】わくかわ 和久川【まきかわ 由良川水系】まきかわ 牧川【いさづがわ 伊佐津川水系】いさづがわ 伊佐津川【かわかみたにがわ 川上谷川水系】かわかみたにがわ 川上谷川【さのたにがわ 佐濃谷川水系】さのたにがわ 佐濃谷川

兵庫県<4河川>

【いなんぼがわ 円山川水系】いなんぼがわ 稲葉川【おおやがわ 円山川水系】おおやがわ 大屋川【たかたにがわ 加古川水系】たかたにがわ 高谷川【やだがわ 矢田川水系】やだがわ 矢田川

奈良県<1河川>

【きのかわ 紀の川水系】きのかわ 紀の川

和歌山県<2河川>

【くまのがわ 新宮川水系】くまのがわ 熊野川【おおたがわ 太田川水系】おおたがわ 太田川

三重県<1河川>

【きづがわ 淀川水系】きづがわ 木津川

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

国管理河川における洪水予報、水防警報発令状況

※8月16日9時00分 時点

台風第7号により、8月15日、管内の直轄管理河川10水系のうち、警戒レベル3に相当する情報を4河川で、警戒レベル2に相当する情報を1河川で発表。

■洪水予報及び水位周知情報

水系	河川	基準観測所	発表の種別※		発表日時	解除日時
淀川	名張川	名張	洪水予報	氾濫警戒情報	8月15日 0:30	8月15日13:20
新宮川	相野谷川	高岡	水位周知	氾濫警戒情報	8月15日 3:50	8月15日18:20
新宮川	市田川	下田	水位周知	氾濫注意情報	8月15日 3:50	8月15日 6:20
円山川	出石川	弘原	洪水予報	氾濫警戒情報	8月15日15:50	8月15日19:40
円山川	円山川	立野	洪水予報	氾濫警戒情報	8月15日17:30	8月15日23:15

※発表の種別について

- ・国や都道府県が管理する河川のうち、洪水により大きな損害を生ずる河川については、国土交通省または都道府県と気象庁が共同で、河川を指定して洪水予報・水位周知を行っている。
- ・洪水予報指定河川は、流域面積が大きい河川で、洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じる恐れがある河川をいう。
- ・水位周知河川は、洪水予報河川以外の河川のうち、洪水により国民経済上重大または相当な損害を生じる恐れがある河川で、避難判断水位(特別警戒水位)を定めて、この水位に到達した旨の情報を出す河川をいう。

※発表の種別と警戒レベルとの関係

- ・氾濫発生情報: 警戒レベル5相当
- ・氾濫危険情報: 警戒レベル4相当
- ・氾濫警戒情報: 警戒レベル3相当
- ・氾濫注意情報: 警戒レベル2相当

国管理河川における洪水予報、水防警報発令状況

※8月16日9時00分 時点

管内の12河川に対して、水防法に基づく水防警報を発表。

■水防警報

水系	河川	基準観測所	水防警報の種類	発表日時	解除日時
淀川	名張川	名張	出動	8月15日 0 : 30	8月15日 15 : 20
淀川	宇陀川	安部田	出動	8月15日 0 : 30	8月15日 15 : 30
新宮川	相野谷川	高岡	出動	8月15日 2 : 50	8月16日 2 : 30
新宮川	熊野川	成川	待機	8月15日 3 : 10	8月15日 14 : 50
新宮川	市田川	下田	出動	8月15日 3 : 50	8月15日 13 : 50
紀の川	紀の川	五條	準備	8月15日 7 : 40	8月15日 11 : 20
淀川	木津川	加茂	待機	8月15日 9 : 40	8月15日 14 : 20
円山川	出石川	弘原	出動	8月15日 14 : 20	8月15日 23 : 45
円山川	奈佐川	宮井	準備	8月15日 15 : 20	8月15日 20 : 10
円山川	円山川	立野	出動	8月15日 15 : 40	8月16日 8 : 40
加古川	加古川	<small>くにかね</small> 国包	準備	8月15日 17 : 50	8月16日 2 : 45
淀川	桂川	桂	待機	8月15日 19 : 00	8月15日 21 : 30

水防警報とは

水防警報とは、河川が所定の水位に達した際に、防災機関（水防団や消防機関など）の出動の指針とするために発表されるものです（水防法第16条）。

国土交通大臣または都道府県知事は、河川、湖沼又は海岸を指定して、水防管理団体の水防活動に指針を与えるため、河川の洪水予報等の一般の方への情報より早目に、より低い水位で段階的に水防警報を発表することとしています（水防法第16条）。

※8月16日9時00分 時点

ダムの洪水調節の実施状況

- 1級水系では、国土交通省、奈良県、三重県、兵庫県、福井県、水資源機構が管理する14ダムで洪水調節を実施。
- 2級水系では和歌山県、兵庫県が管理する6ダムで洪水調節を実施。



洪水調節実施ダム

2級水系

市川水系

生野ダム(市川)【兵庫県】

三原川水系

諭鶴羽ダム(諭鶴羽川)【兵庫県】

大日ダム(大日川)【兵庫県】

牛内ダム(牛内川)【兵庫県】

切目川水系

切目川ダム(切目川)【和歌山県】

古座川水系

七川ダム(古座川)【和歌山県】

洪水調節実施ダム

1級水系

九頭竜川水系

九頭竜ダム(九頭竜川)【国土交通省】

笹生川ダム(真名川)【福井県】

広野ダム(日野川)【福井県】

円山川水系

与布土ダム(与布土川)【兵庫県】

揖保川水系

引原ダム(引原川)【兵庫県】

淀川水系

日吉ダム(桂川)【水資源機構】

高山ダム(名張川)【水資源機構】

布目ダム(布目川)【水資源機構】

滝川ダム(滝川)【三重県】

川上ダム(前深瀬川)【水資源機構】

比奈知ダム(名張川)【水資源機構】

大和川水系

白川ダム(高瀬川、檜川)【奈良県】

天理ダム(布留川)【奈良県】

紀の川水系

大滝ダム(紀の川)【国土交通省】

凡例

- 国土交通省管理ダム
- 府県管理ダム
- 水資源機構管理ダム

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

※8月16日18時00分 時点

○国管理の排水機場11施設で、ポンプ排水を実施。

No.	事務所名	水系名	河川名	施設名	操作・運転状況				
					閉操作/ポンプ始動		開操作/ポンプ停止		総排水量
					年月日	時刻	年月日	時刻	
①	福知山	由良川	由良川	こうぼうがわ 弘法川排水機場	R5.8.15 R5.8.15	4:15 14:42	R5.8.15 R5.8.15	9:56 19:35	6.2万m ³
②	紀南	新宮川	市田川	いちだがわ 市田川排水機場	R5.8.15	4:20	R5.8.15	11:05	24.3万m ³
③	福知山	由良川	由良川	あらが 荒河排水機場	R5.8.15 R5.8.15	5:10 14:47	R5.8.15 R5.8.16	10:10 2:50	34.8万m ³
④	豊岡	円山川	円山川	とよおか 豊岡排水機場	R5.8.15	5:57	R5.8.16	14:41	57.0万m ³
⑤	淀川	淀川	木津川	やわた 八幡排水機場	R5.8.15	9:10	R5.8.16	17:20	75.0万m ³
⑥	豊岡	円山川	円山川	ろっぽう 六方排水機場	R5.8.15	9:20	R5.8.16	13:13	290.0万m ³
⑦	豊岡	円山川	円山川	はちじょう 八条揚排水機場	R5.8.15	13:48	R5.8.16	16:33	13.0万m ³
⑧	豊岡	円山川	円山川	きのさき 城崎排水機場	R5.8.15	13:56	R5.8.16	0:43	23.0万m ³
⑨	淀川	淀川	宇治川	くみやま 久御山排水機場	R5.8.15	15:01	R5.8.16	1:52	35.0万m ³
⑩	豊岡	円山川	円山川	やしろ 八代排水機場	R5.8.15	15:12	R5.8.16	2:50	100万m ³
⑪	福知山	由良川	由良川	ほうかわ 法川排水機場	R5.8.15	17:36	R5.8.15	23:43	2.6万m ³

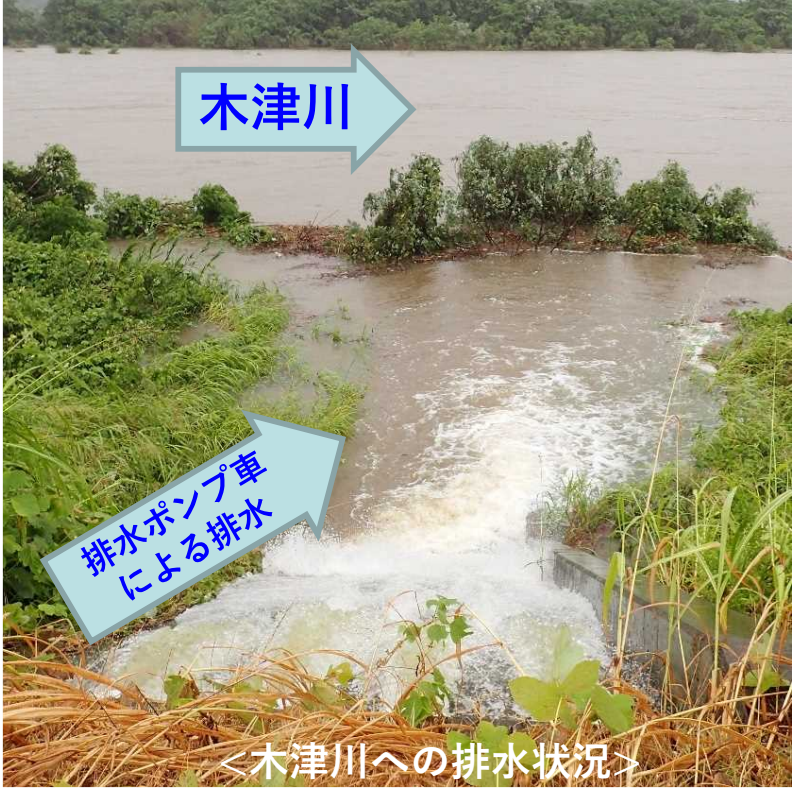
位置図



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

排水ポンプ車による排水活動状況(淀川水系木津川:井手町)

○淀川水系木津川の水位が上昇し、京都府綴喜郡井手町多賀鐘付地区の上之浜樋門の堤内側が内水浸水する恐れがあったため、井手町からの要請に基づき近畿地方整備局淀川河川事務所より排水ポンプ車を派遣し、井手町消防団26名とともに排水ポンプの設置を行い、約5時間排水作業を実施。



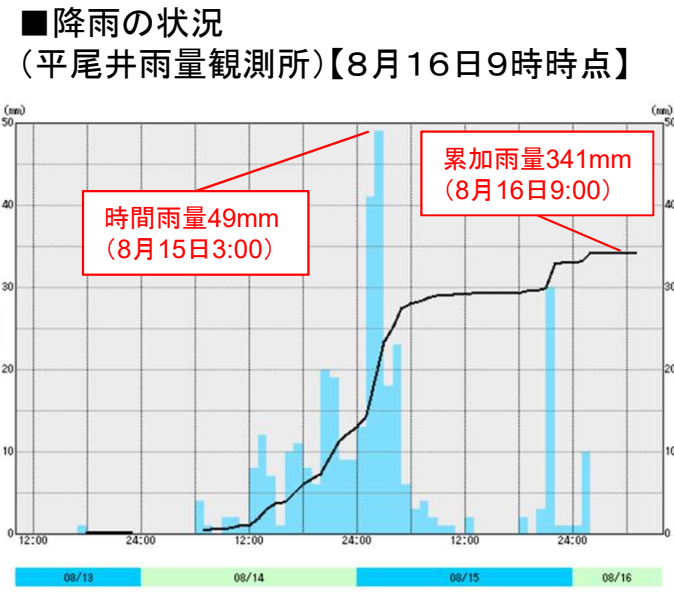
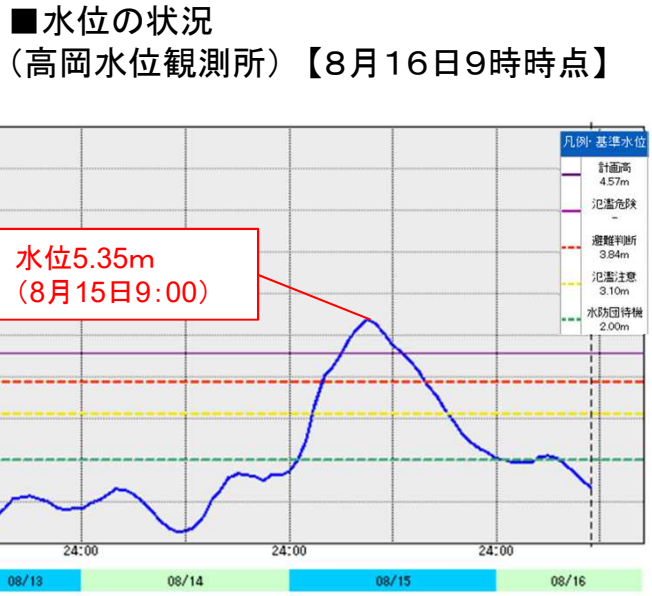
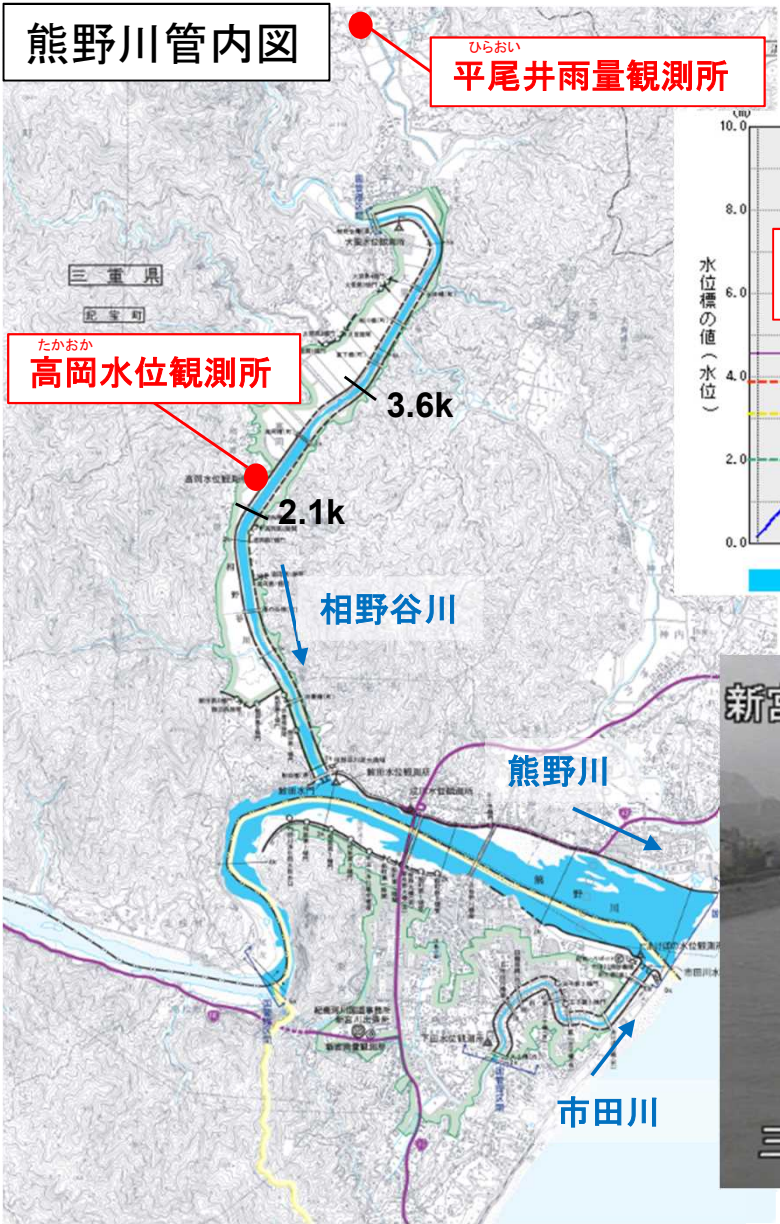
<井手町消防団との排水ポンプ設置状況>

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

流域の概要

流域の概要(新宮川水系相野谷川)

しんぐうがわ おのだにがわ



相野谷川右岸2.1k地点 8月15日(火) 09:00

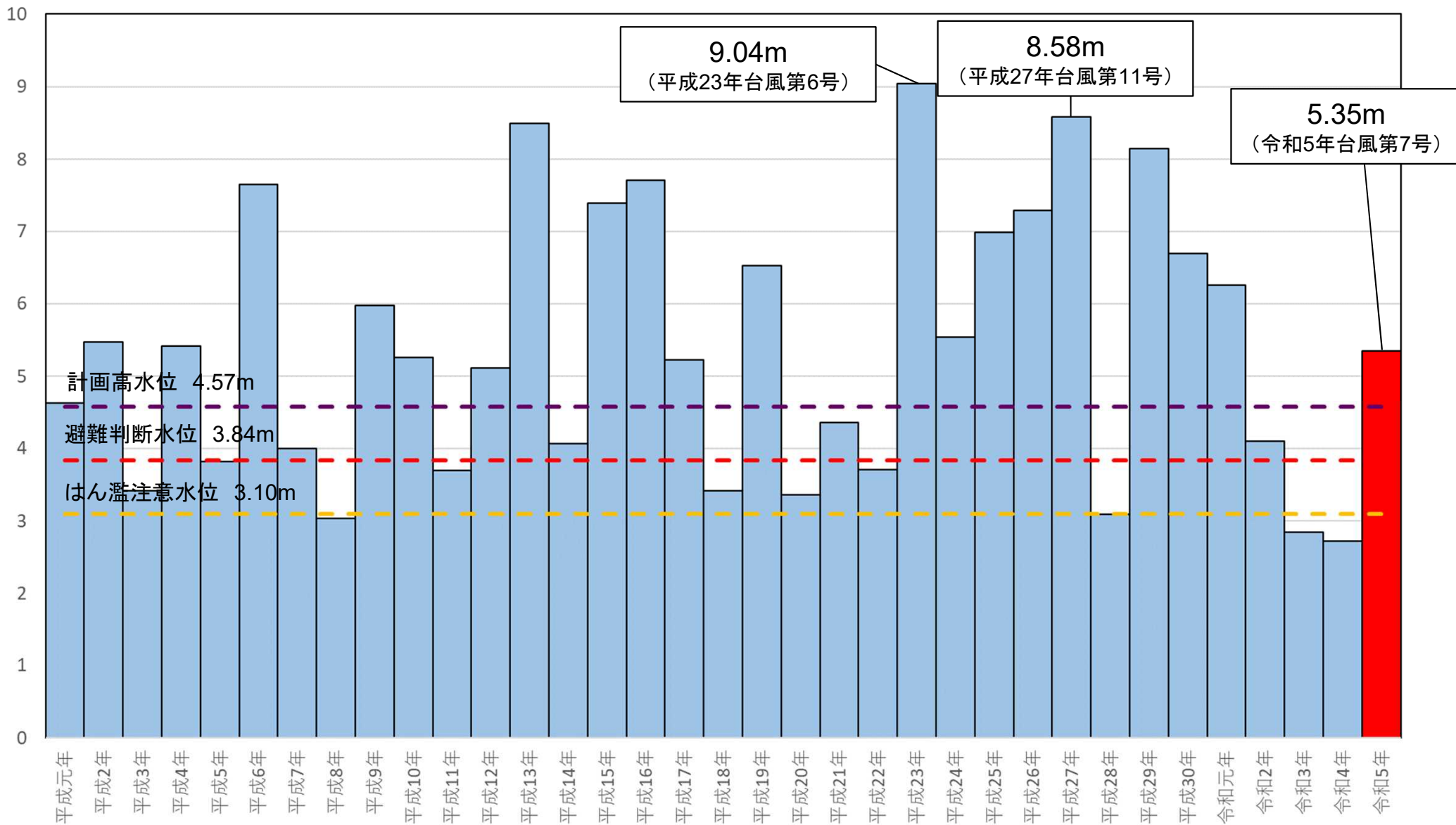
相野谷川右岸3.6k地点 8月15日(火) 09:00

水位の概要(新宮川水系相野谷川)

※8月16日9時00分 時点

■ 既往洪水での相野谷川(高岡水位観測所)における水位(正時データ)

水位(m)



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。14

流域の概要(円山川水系円山川・出石川)

まるやまがわ

まるやまがわ

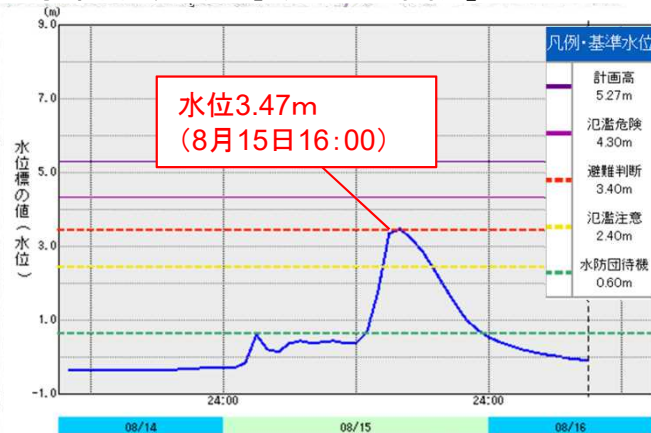
いずしがわ

円山川管内図



■水位の状況

(弘原水位観測所)【8月16日9時時点】



出石川右岸7.6k地点
8月15日(火) 16:00

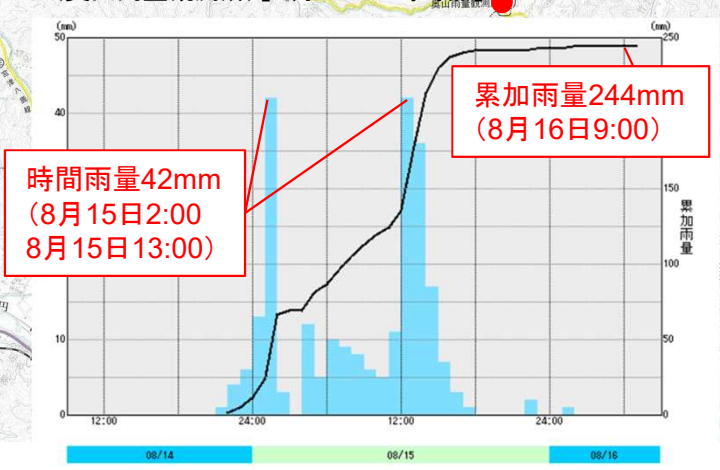
ひろはら
弘原水位観測所

7.6k

おくやま
奥山雨量観測所

■降雨の状況

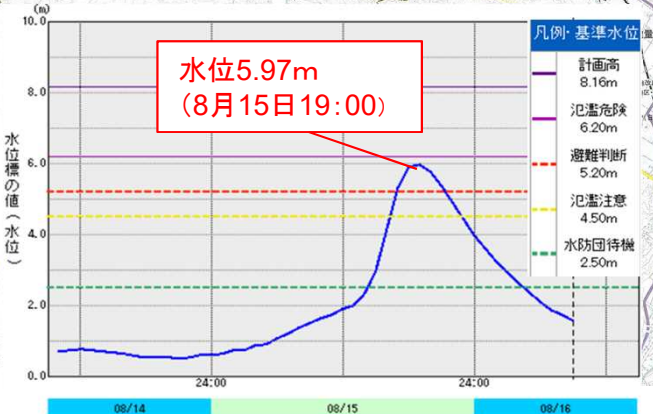
(奥山雨量観測所)【8月16日9時時点】



円山川左岸13.0k地点
8月15日(火) 18:20

■水位の状況

(立野水位観測所)【8月16日9時時点】



まるやまがわ

まるやまがわ

近畿地方整備局

水位の概要(円山川水系円山川)

※8月16日9時00分 時点

■既往洪水での円山川(立野水位観測所)における水位(正時データ)

水位(m)

年	水位(m)	備考
平成元年	3.9	
平成2年	7.1	
平成3年	1.6	
平成4年	3.6	
平成5年	3.8	
平成6年	5.1	
平成7年	4.0	
平成8年	1.9	
平成9年	4.1	
平成10年	5.8	
平成11年	5.3	
平成12年	3.4	
平成13年	2.5	
平成14年	1.1	
平成15年	2.0	
平成16年	8.29	(平成16年台風第23号)
平成17年	3.4	
平成18年	5.3	
平成19年	2.7	
平成20年	2.3	
平成21年	6.2	
平成22年	1.6	
平成23年	5.6	
平成24年	2.9	
平成25年	5.3	
平成26年	4.9	
平成27年	2.9	
平成28年	3.8	
平成29年	6.0	
平成30年	6.96	(平成30年前線・台風第7号)
令和元年	2.0	
令和2年	2.2	
令和3年	4.8	
令和4年	1.9	
令和5年	5.97	(令和5年台風第7号)

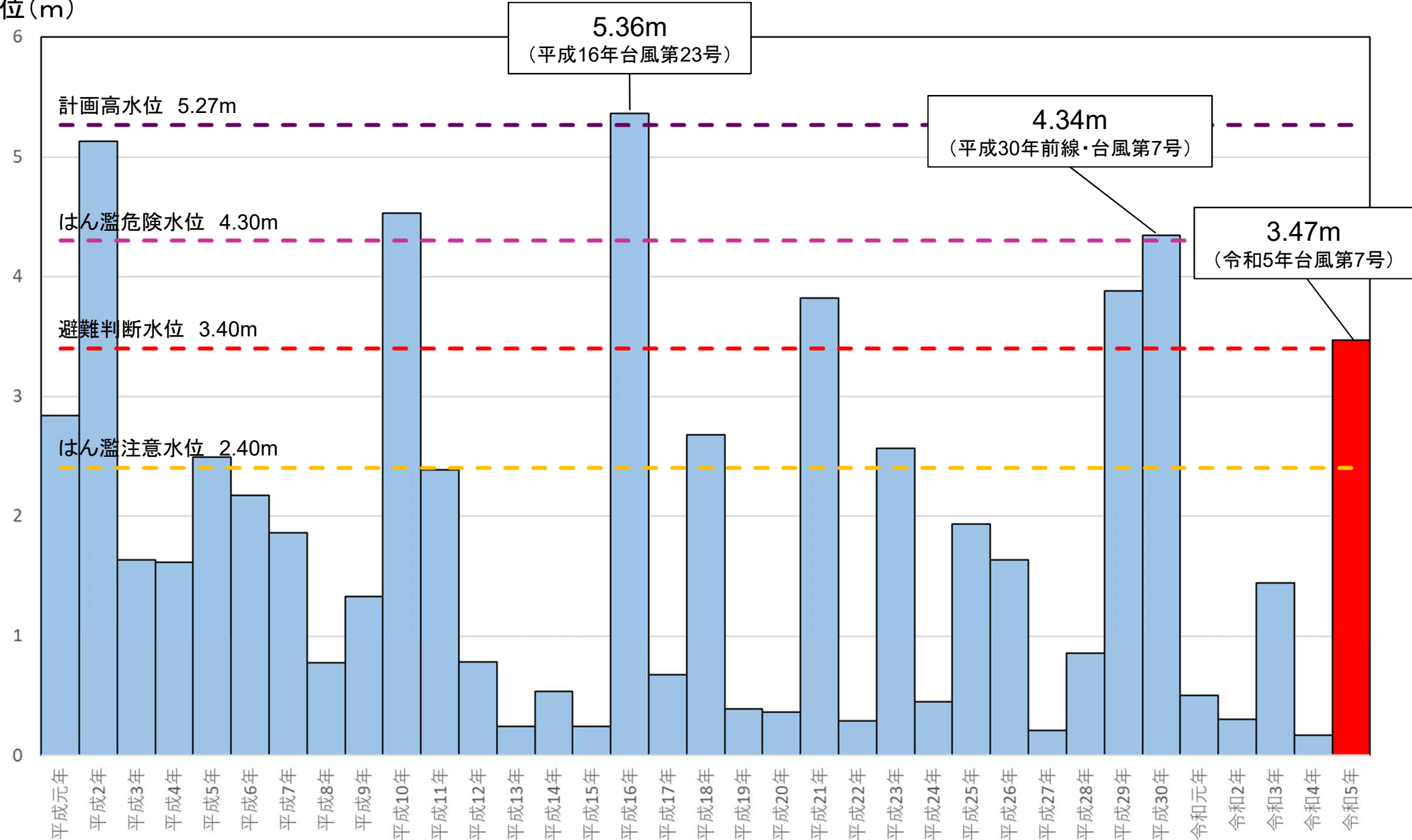
※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。16

水位の概要(円山川水系出石川)

※8月16日9時00分 時点

■既往洪水での出石川(弘原水位観測所)における水位(正時データ)

水位(m)

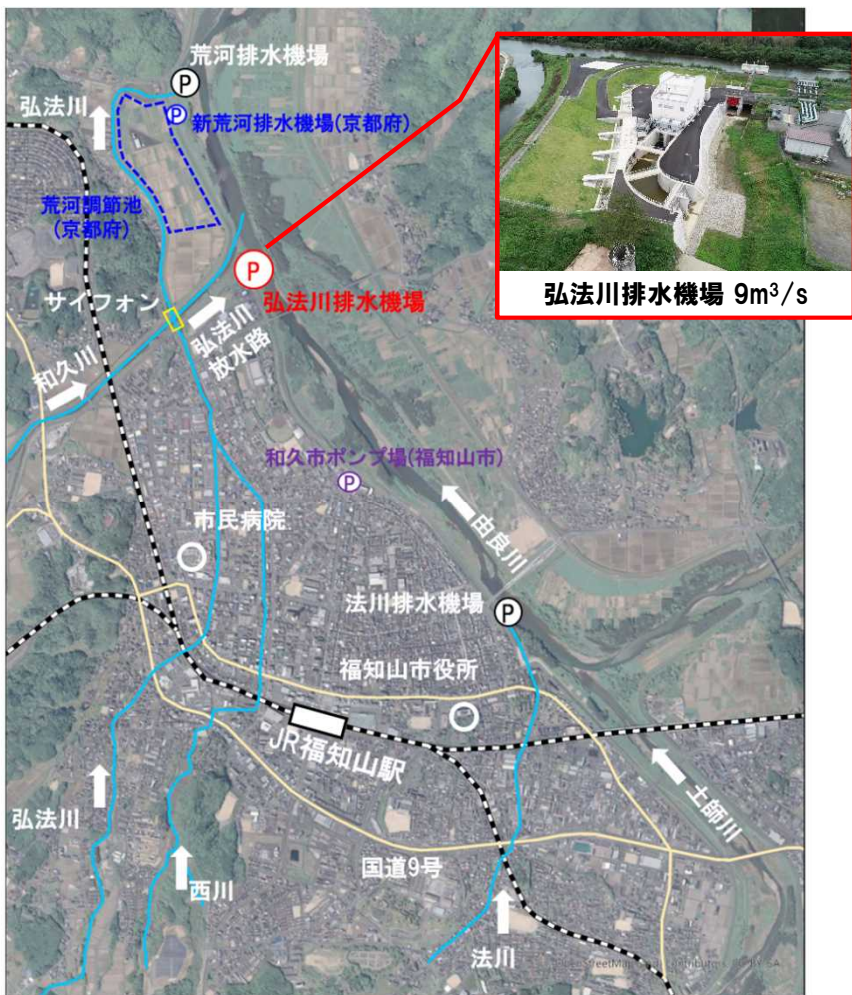


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。17

対策等の効果

- 由良川(福知山市域)では、平成26年8月の大規模な浸水被害を踏まえ、国・京都府・福知山市が連携して、ポンプ増強・調節池の新設・調整池の整備等、総合的な治水対策を実施してきました。
- この度の**台風第7号**に伴う出水において「弘法川排水機場」のポンプを稼働させ、**総排水量約6.2万m³**の内水を排出し、弘法川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。(令和5年8月15日4時~20時にかけてポンプを運転)

■ 弘法川排水機場の位置・全景



Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

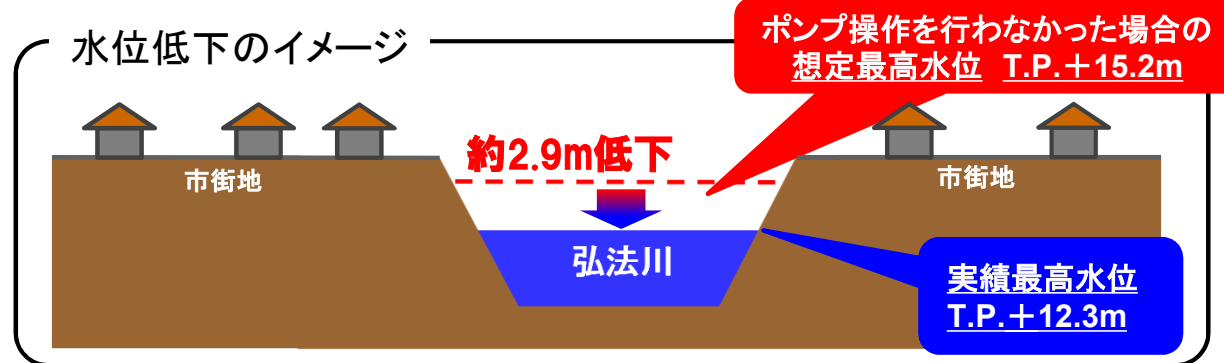
8月14~16日において、福知山観測所では累加雨量196mm、時間最大35mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。

■ 弘法川排水機場の役割

弘法川排水機場は、令和2年に9m³/s(4.5m³/s×2基)で運用を開始しました。弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山市街地の内水被害を軽減する役割を担っています。

■ 弘法川排水機場による水位低減効果



浸水回避のイメージ

ポンプがなかった場合の浸水被害



今回のポンプの稼働により、**総排水量約6.2万m³**の内水を排除し、弘法川の水位を**約2.9m低下**させ、浸水被害を**約23ha**防ぐことができました。

排水量 6.2万m³ — **25mプール 172杯分**

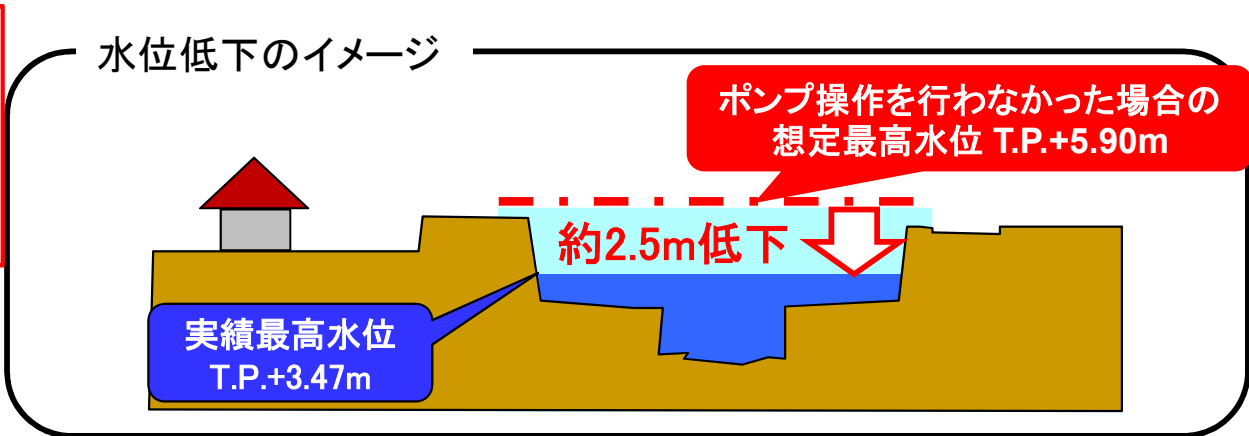


台風第7号に伴う豪雨において「市田川排水機場」のポンプを稼働させ、**総排水量約24.3万m³**の内水を排水し、市田川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。
(令和5年8月15日4:20~11:05にかけてポンプを稼働)

市田川排水機場の位置・全景



市田川排水機場による水位低減効果



市田川排水機場の役割

- 市田川の内水被害を軽減するため、市田川排水機場を建設
- 熊野川洪水の市田川への逆流防止と市田川の洪水を熊野川へ排水する役割を担う
- 新宮市内に広がる浸水被害を軽減

市田川排水機場の諸元

- S61年完成
- 5.0m³/sポンプ×2台 H12年増設
- 5.1m³/sポンプ×1台増設 2.0m³/sポンプ×1台増設
- 合計排水能力17.1m³/s



8月14日~15日にかけて、新宮雨量観測所では累加雨量220mm、時間最大24mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。

既存排水機場の効果 由良川水系由良川 [荒河排水機場]

- 由良川(福知山市域)では、平成26年8月の大規模な浸水被害に対して、国・京都府・福知山市が連携して、総合的な治水対策を実施してきました。
- この度の台風第7号に伴う出水において「荒河排水機場」のポンプを稼働させ、総排水量約34.8万m³の内水を排出し、弘法川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。(令和5年8月15日5時～16日3時にかけてポンプを運転)

■ 荒河排水機場の位置・全景



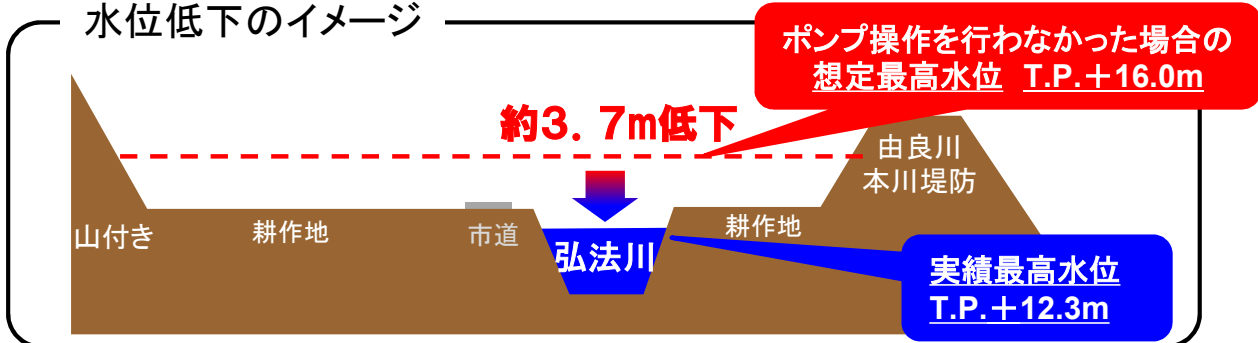
Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

8月14～16日において、福知山観測所では累加雨量196mm、時間最大35mmの雨を観測しました。
 ※速報値であり、今後変わる場合があります。

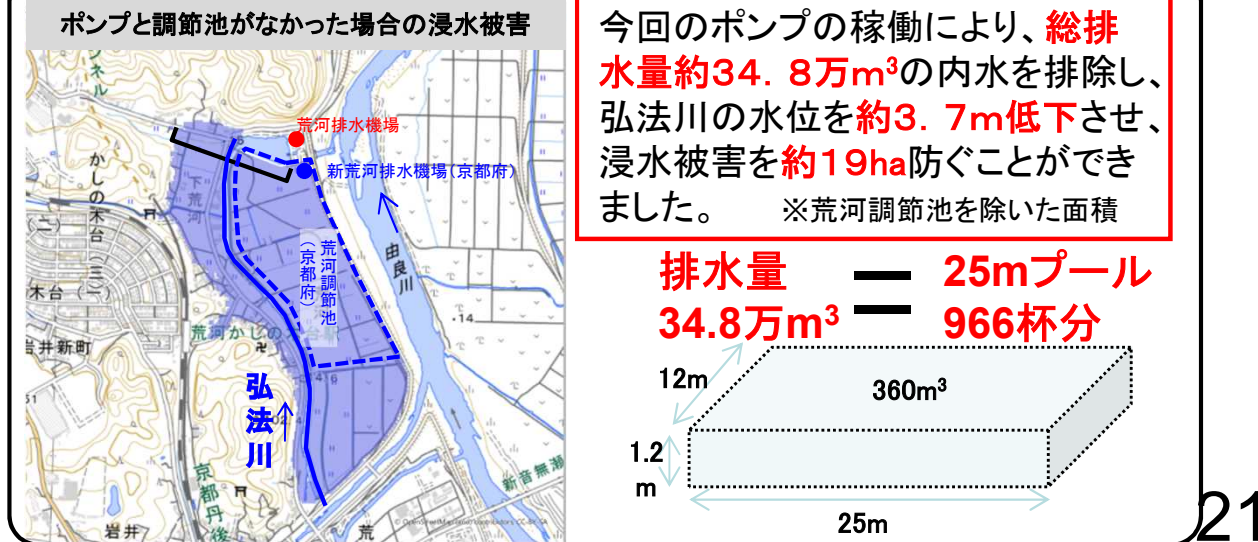
■ 荒河排水機場の役割

荒河排水機場は、昭和56年に5m³/sポンプ1台で運用開始後、平成6年に5m³/sポンプ1台を増設し、最大10m³/sの能力としました。さらに、平成28年には3m³/sの増設を行いました。また、令和2年に京都府が新荒河排水機場(5.5m³/sポンプ2台)と調整池を整備し、弘法川流域に降った雨を由良川へ排水することで福知山市街地の内水被害を軽減する役割を担っています。

■ 荒河排水機場による水位低減効果



■ 浸水回避のイメージ



既存排水機場の効果 円山川水系円山川

【豊岡排水機場】

【八条揚排水機場】

○豊岡市内の内水被害発生に備えて、豊岡排水機場及び八条揚排水機場のポンプを稼働させ、**総排水量約70万m³の内水**を排出し、戸牧川及び大磯川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。

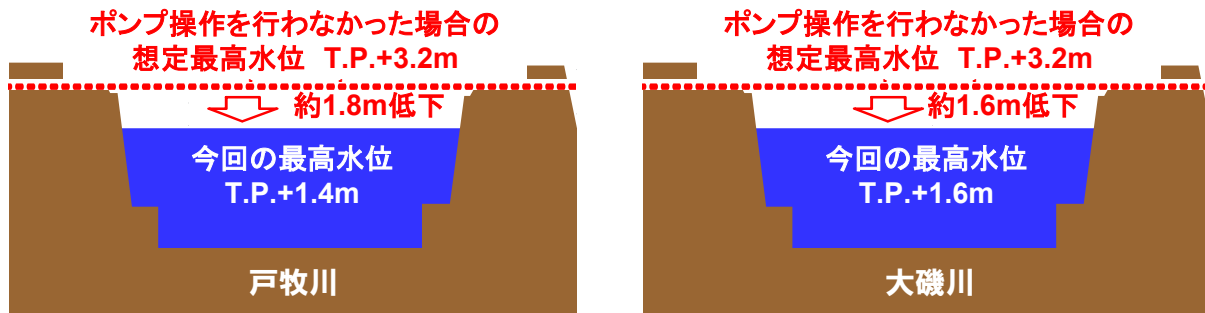
- ・豊岡排水機場では、令和5年8月15日6時～16日15時にかけて、**総排水量57万m³の内水**を排除。
- ・八条揚排水機場では、令和5年8月15日14時～16日16時にかけて、**総排水量13万m³の内水**を排除。

■豊岡排水機場及び八条揚排水機場の位置・全景



■支川(戸牧川及び大磯川)の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量約70万m³の内水**を排出し、戸牧川の水位は**約1.8m低下**、大磯川の水位は**約1.6m低下**し、**約74ha、約3,800戸の家屋浸水被害が回避**できたと推定。



■豊岡排水機場及び八条揚排水機場の役割

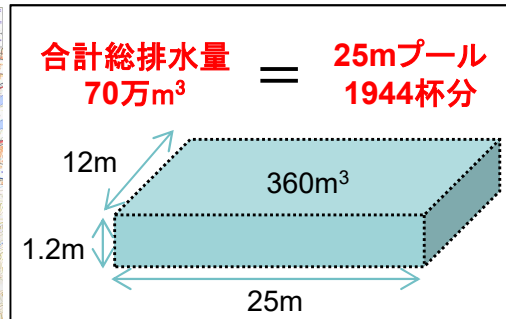
- 豊岡市街地の内水被害を軽減するため、豊岡排水機場は及び八条揚排水機場を建設
- 豊岡排水機場は、円山川洪水の戸牧川への逆流防止と戸牧川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 八条揚排水機場は、円山川洪水の大磯川への逆流防止と大磯川の洪水を円山川へ排水する役割を担う
- 大磯川は流れが緩やかで水が滞留しやすいため、定期的に円山川の水を汲み上げ(揚水運転)、戸牧川(豊岡排水機場)より排出することで水を循環させ水質の悪化を防ぐ

■豊岡排水機場の諸元

S42年完成 4m³/sポンプ×2台
 S46年完成 4m³/sポンプ×1台
 H22年完成 7.5m³/sポンプ×2台
合計排水能力15.0m³/s

■八条揚排水機場の諸元

S53年完成 5.0m³/s2ポンプ×1台
 H13年ポンプ増設 5.0m³/sポンプ×1台増設
合計排水能力10.0m³/s(揚水は5.0m³/s)



※速報値であり、今後変わる場合があります。

8月14日～16日にかけて、豊岡雨量観測所では累加雨量152mm、時間最大40mmの雨を観測しました。
 ※速報値であり、今後変わる場合があります。

既存排水機場の効果 淀川水系木津川下流 [八幡排水機場]

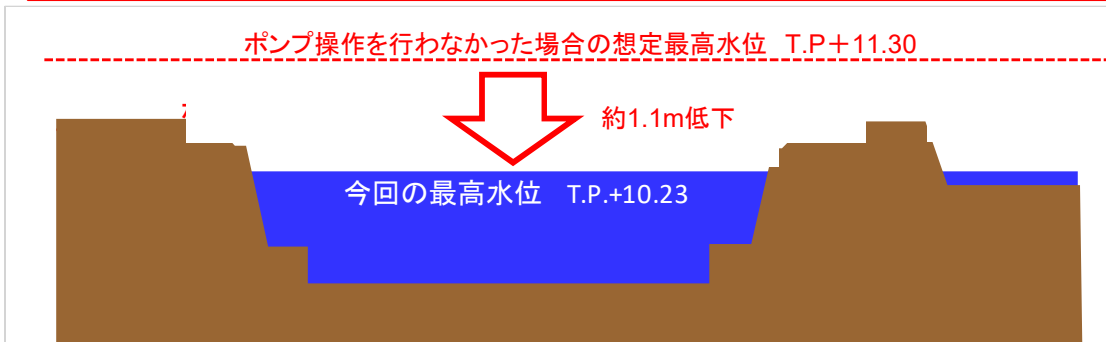
○八幡排水機場では、令和5年8月15日9時～16日17時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを稼働させ、**総排水量約75万m³の内水**を排出し、大谷川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。

■八幡排水機場の位置・全景



■大谷川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量約75万m³の内水**を排出し、大谷川の水位が**約1.1m低下**、**約156ha**の浸水面積を**回避**。

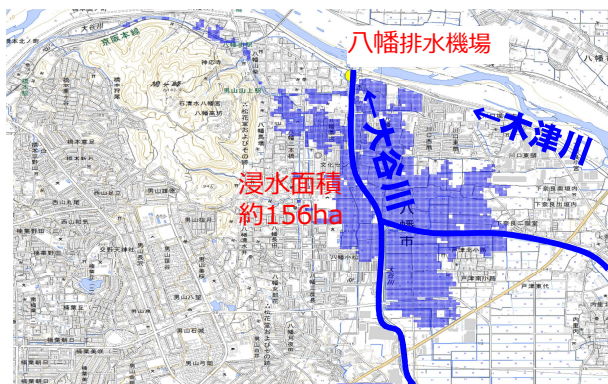


ポンプが無かった場合の浸水被害

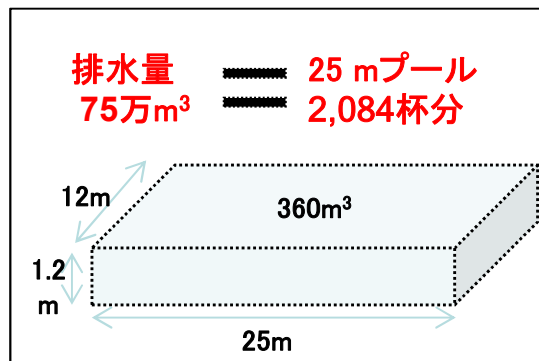
■八幡排水機場の役割

八幡排水機場は、大谷川の内水対策事業として、昭和40年度にポンプ3.0m³/sを2台新設しました。さらに、流域内の開発の進展を受けて、昭和63年度にポンプ12.5m³/sを3台、平成4年には12.5m³/sを1台増設して、**合計排水能力56.0m³/s**の排水機場として現在に至っています。

八幡排水機場は、木津川洪水の大谷川への逆流を防止するとともに、大谷川の流水を木津川へ排水することで、八幡市内の内水被害を軽減する役割を担っています。



● : 八幡排水機場 ■ : 浸水被害想定箇所



※速報値であり、今後変わる場合があります。

8月14日～16日にかけて、田辺雨量観測所(京都府京田辺市)では累加雨量106mm、時間最大17mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。

○六方排水機場では、令和5年8月15日9時～16日13時にかけて、ポンプを稼働させ、**総排水量約290万m³の内水**を排出し、六方川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。
 (六方川排水機場(県管理)と併せて**総排水量約462万m³の内水**を排出)

■六方排水機場の位置・全景



■六方川の水位低減効果

(※六方排水機場(国)、六方川排水機場(県)の併せた効果で算出)

今回のポンプの稼働により、**総排水量約462万m³の内水**を排出し、六方川の水位が**約1.3m低下**し、浸水面積**約372ha**(浸水家屋**約510戸**)を回避。



■六方排水機場の役割

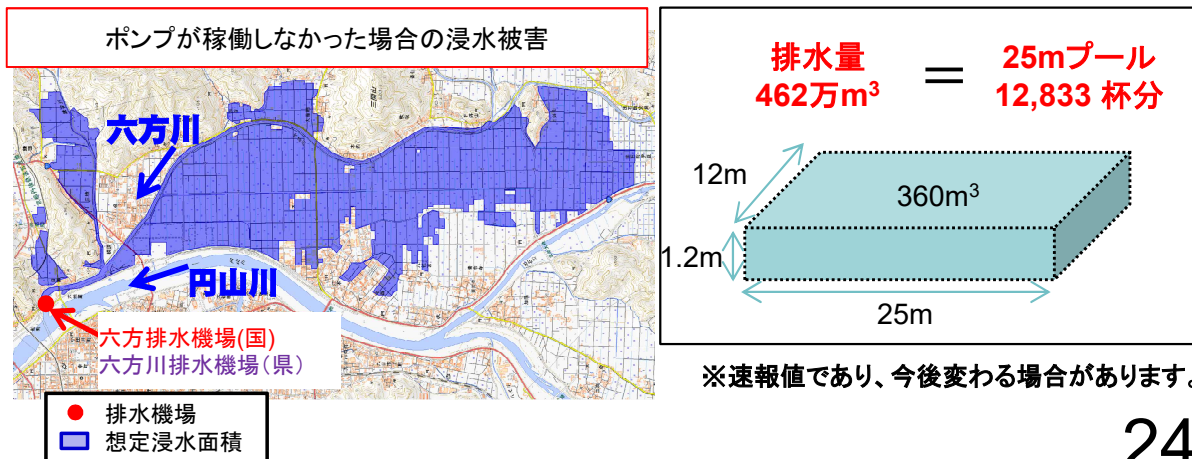
- 六方川の内水被害を軽減するため、六方排水機場を建設
- 円山川洪水の六方川への逆流防止と六方川の洪水を円山川へ排水する役割を担う

■六方排水機場の諸元

- (国管理) H13年完成 15.0m³/sポンプ×2台
合計排水能力30.0m³/s
- (兵庫県管理) H25年完成 排水能力18m³/s

8月14日～16日にかけて、豊岡雨量観測所では累加雨量152mm、時間最大40mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。



※速報値であり、今後変わる場合があります。

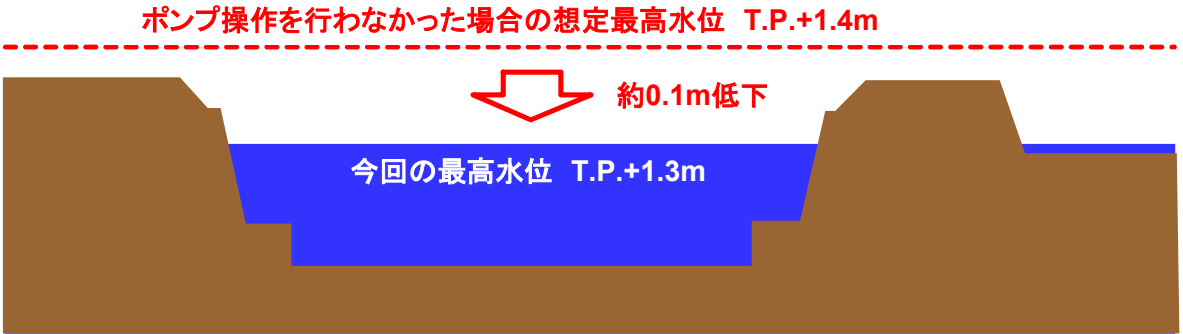
○城崎排水機場では、令和5年8月15日14時～16日0時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを稼働させ、**総排水量約23万^{おたにがわ}m³の内水**を排出し、大谿川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。

■城崎排水機場の位置・全景



■大谿川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量約23万m³の内水を排出し**、大谿川の水位が**約0.1m低下**し、**浸水面積約1.2ha** (浸水家屋**約30戸**)を回避。



■城崎排水機場の役割

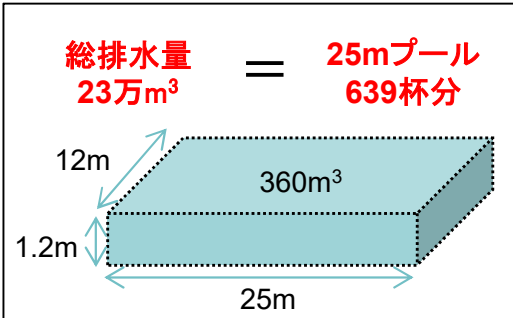
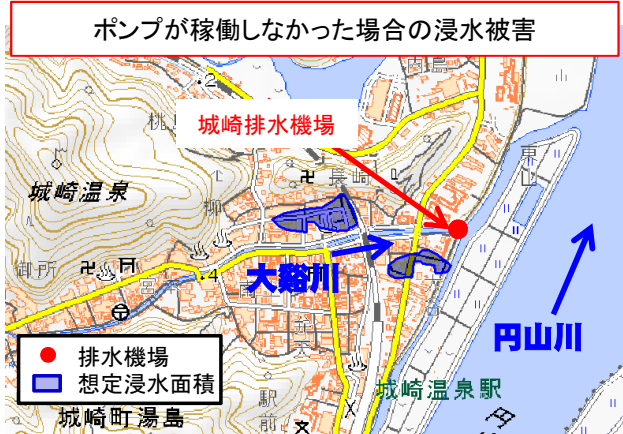
- 大谿川の内水被害を軽減するため、城崎排水機場を建設
- 円山川洪水の大谿川への逆流防止と大谿川の洪水を円山川へ排水する役割を担う

■城崎排水機場の役割

- S49年完成 5.0m³/sポンプ × 2台
- H12年増設 5.0m³/sポンプ × 1台増設。
- H20年更新 5.0m³/sポンプ1台を8.65m³/sに更新
- H22年更新 5.0m³/sポンプ1台を8.65m³/sに更新
- 合計排水能力22.3m³/s**

8月14日～16日にかけて、豊岡雨量観測所では累加雨量152mm、時間最大40mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。



※速報値であり、今後変わる場合があります。

既存排水機場の効果 淀川水系宇治川 [久御山排水機場]

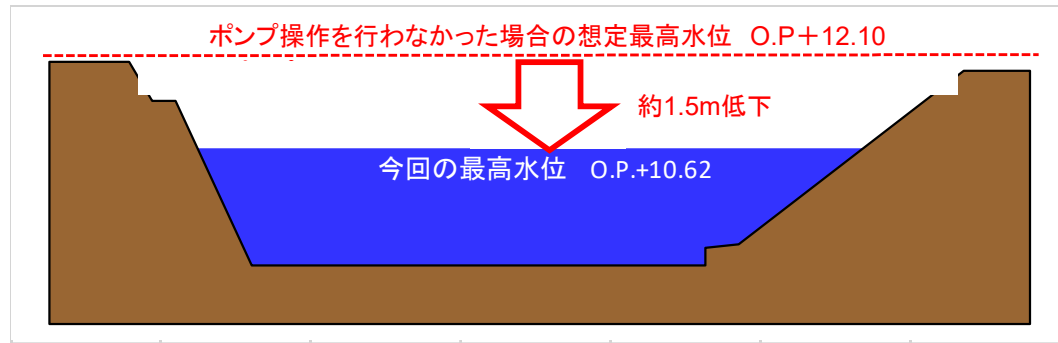
○久御山排水機場では、令和5年8月15日15時～16日1時にかけて、内水被害発生に備えて、ポンプを稼働させ、**総排水量約35万m³の内水**を排出し、古川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。

■久御山排水機場の位置・全景



■古川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量約35万m³の内水**を排出し、古川の水位が**約1.5m低下**、**約5ha**の浸水面積を**回避**、**約90戸**の家屋浸水を**回避**。

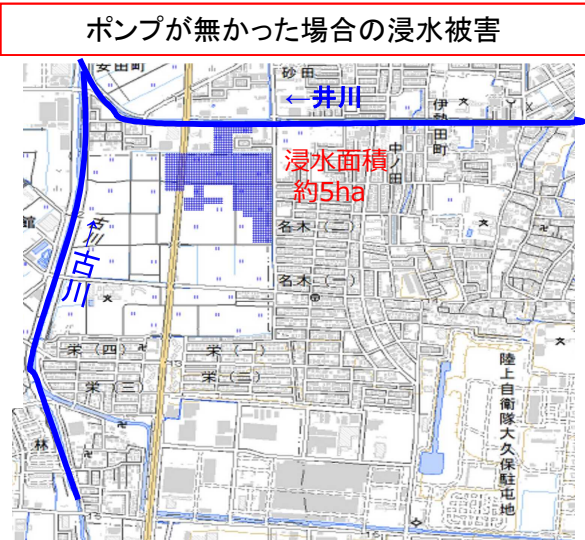


■久御山排水機場の役割

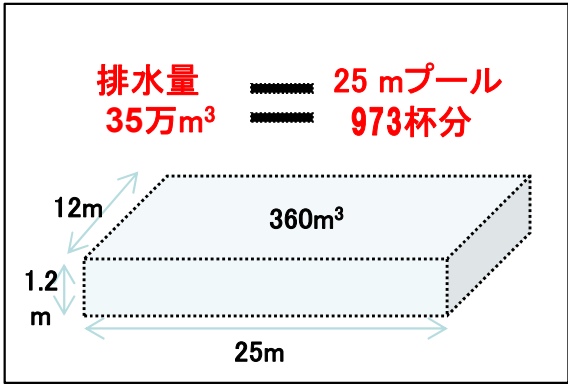
久御山排水機場は、巨椋池地区の内水排除計画の策定に伴って巨椋池排水機場に隣接して新設され、昭和48年度に30.0m³/sのポンプ1台が設置されて稼働を開始しました。その後、昭和62年度には30.0m³/sのポンプ1台が増設、平成4年6月にも30.0m³/sのポンプ1台が増設され、**合計排水能力90.0m³/s**の排水機場として現在に至っています。久御山排水機場は、宇治川洪水の古川への逆流を防止するとともに、古川の流水を宇治川へ排水することで、久御山町内の内水被害を軽減する役割を担っています。

8月14日～16日にかけて、三栖雨量観測所(京都市伏見区)では累加雨量91mm、時間最大12mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。



※浸水被害想定箇所

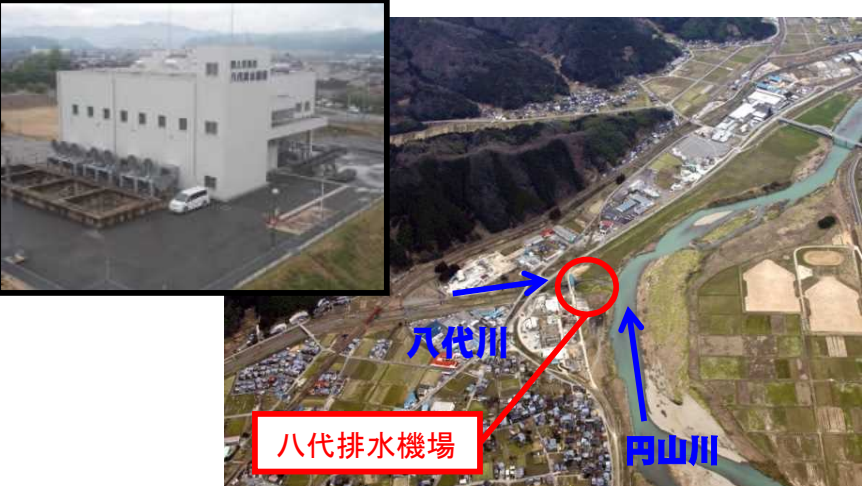


※速報値であり、今後変わる場合があります。

既存排水機場の効果 円山川水系円山川 [八代排水機場]

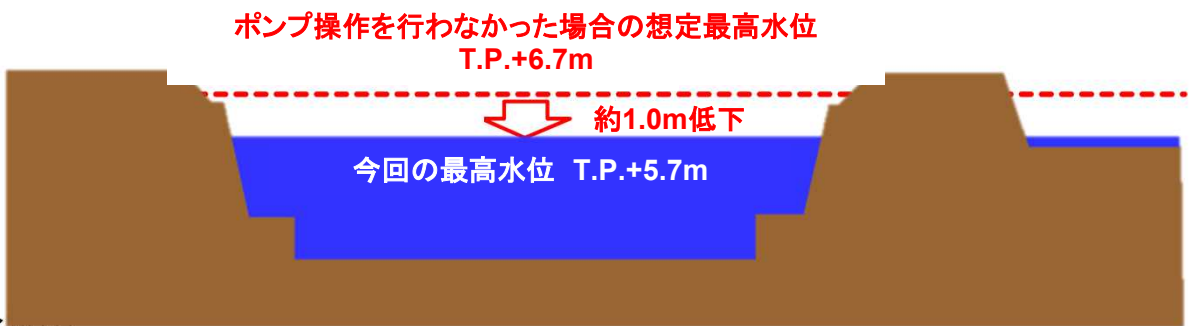
○八代排水機場では、令和5年8月15日15時～16日3時にかけて、内水被害発生に備えてポンプを稼働させ、**総排水量約100万m³の内水**を排出し、八代川流域での内水氾濫による浸水被害を回避。

■八代排水機場の位置・全景



■八代川の水位低減効果

今回のポンプの稼働により、**総排水量約100万m³の内水**を排出し、八代川の水位が**約1.0m低下**し、**浸水面積約66ha** (浸水家屋**約180戸**)を回避できたと推定。



■八代排水機場の役割

- 八代川の内水被害を軽減するため、八代排水機場を建設
- 円山川洪水の八代川への逆流防止と八代川の洪水を円山川へ送る役割を担う

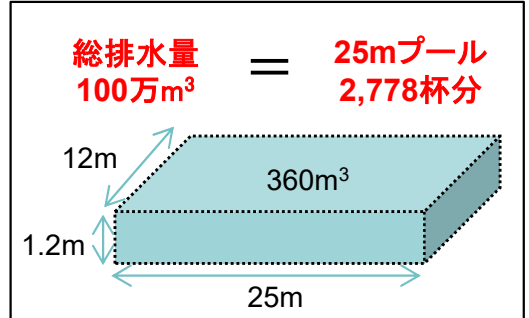
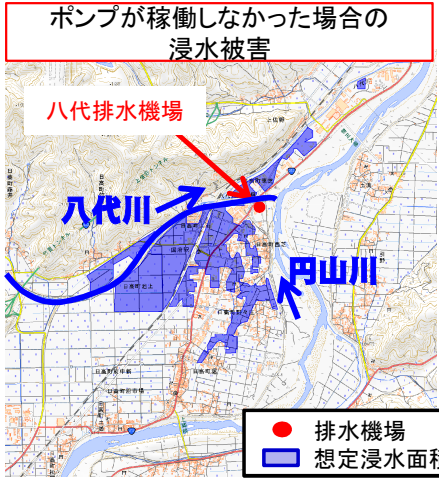
■八代排水機場の諸元

- H11年完成 1.0m³/sポンプ×4台
- H21年完成 4.0m³/sポンプ×1台に更新
- H23年更新 9.0m³/sポンプ1台、10.35m³/sポンプ2台を33.7m³/sに更新

合計排水能力33.7m³/s

8月14日～16日にかけて、豊岡雨量観測所では累加雨量152mm、時間最大40mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。



※速報値であり、今後変わる場合があります。

既存排水機場の効果 由良川水系由良川 [法川排水機場]

- 由良川(福知山市域)では、平成26年8月の大規模な浸水被害に対して、国・京都府・福知山市が連携して、総合的な治水対策を実施してきました。
- この度の台風第7号に伴う出水において「法川排水機場」のポンプを稼働させ、総排水量約2.6万m³の内水を排出することで、法川流域での内水被害による浸水被害を回避 (令和5年8月15日17時~23時にかけてポンプを運転)

■ 法川排水機場の位置・全景

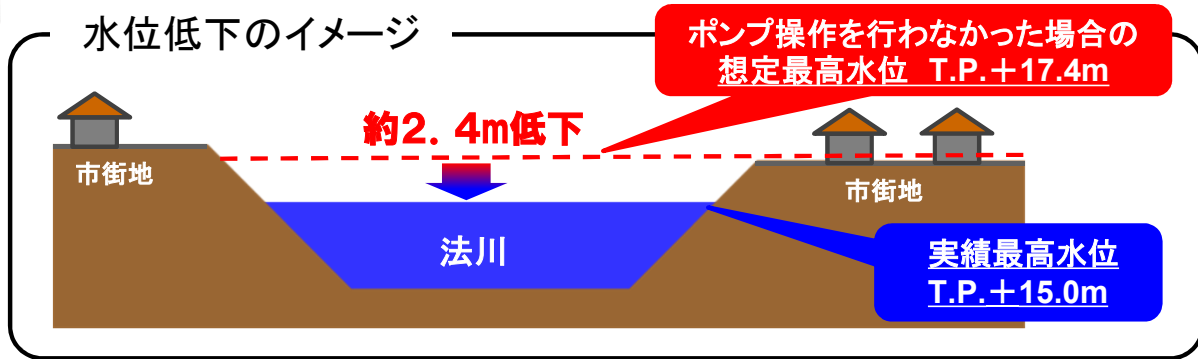


Copyright(c) NTT空間情報 All Rights Reserved

■ 法川排水機場の役割

法川排水機場は、昭和54年に4.0m³/sポンプ1台で運用開始し、平成6年に2号ポンプ(4.0m³/s)、平成12年に3号ポンプ(4.0m³/s)、平成29年3月に4号5号ポンプ(1.5m³/s×2基)、令和元年に緊急排水ポンプ12m³/sを増設し、合計27m³/sの排水が可能です。法川流域に降った雨を由良川へ排水することにより、福知山市街地の内水被害を軽減する役割を担っています。

■ 法川排水機場による水位低減効果



■ 浸水回避のイメージ

ポンプがなかった場合の浸水被害

今回のポンプの稼働により、総排水量約2.6万m³の内水を排除し、弘法川の水位を約2.4m低下させ、浸水被害を約6ha防ぐことができました。

排水量 — 25mプール
2.6万m³ — 72杯分

8月14~16日において、福知山観測所では累加雨量196mm、時間最大35mmの雨を観測しました。

※速報値であり、今後変わる場合があります。

河川整備による効果 新宮川水系相野谷川

- 熊野川流域では、台風第7号により、8月13日16時頃から16日8時までに398mmの降水量を記録。
- 支川相野谷川では、計画高水位のT.P+ 4. 67mを超過し、T.P+5. 45mに達した。
- 今回の洪水により、相野谷川沿川では田畑等が約18ha浸水したが、これまでの輪中堤整備や熊野川での河道掘削により家屋浸水は回避。

相野谷川における台風第7号による浸水被害



浸水状況(高岡地区) (令和5年8月台風第7号:相野谷川)

撮影箇所①
新宮川水系 相野谷川 右岸 2. 1 k

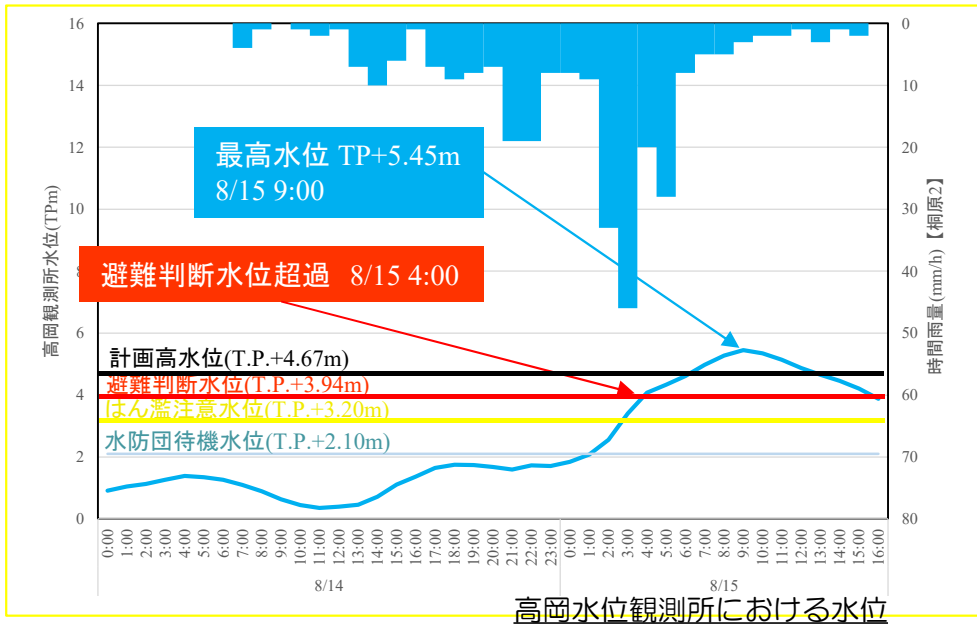
高岡輪中堤

三重県南牟婁郡紀宝町高岡 高岡01

撮影箇所②
新宮川水系 相野谷川 左岸 3. 0 k

高岡橋上流

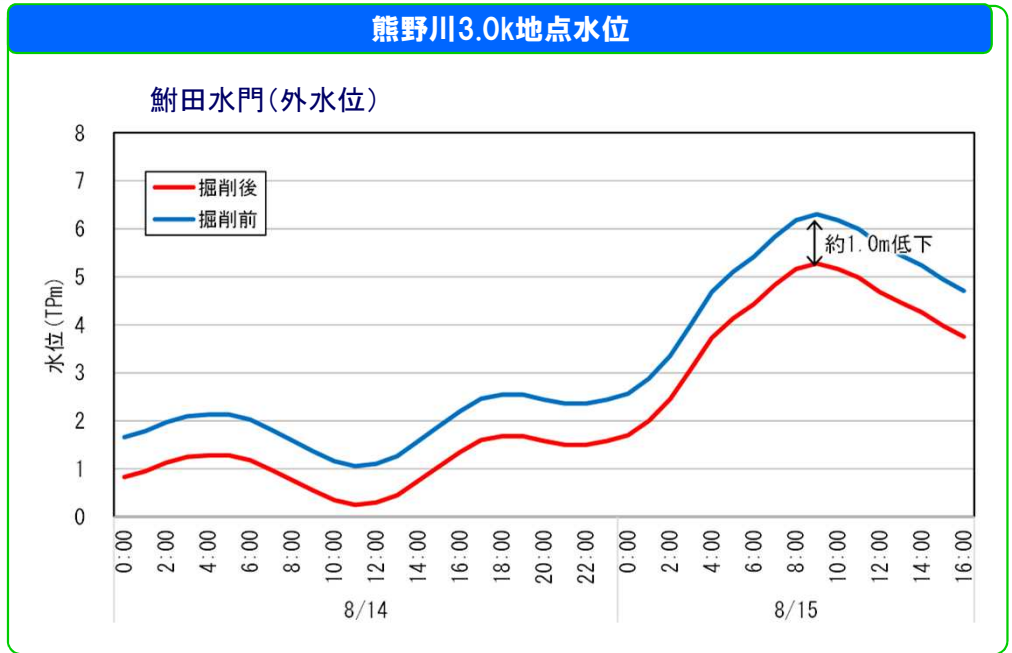
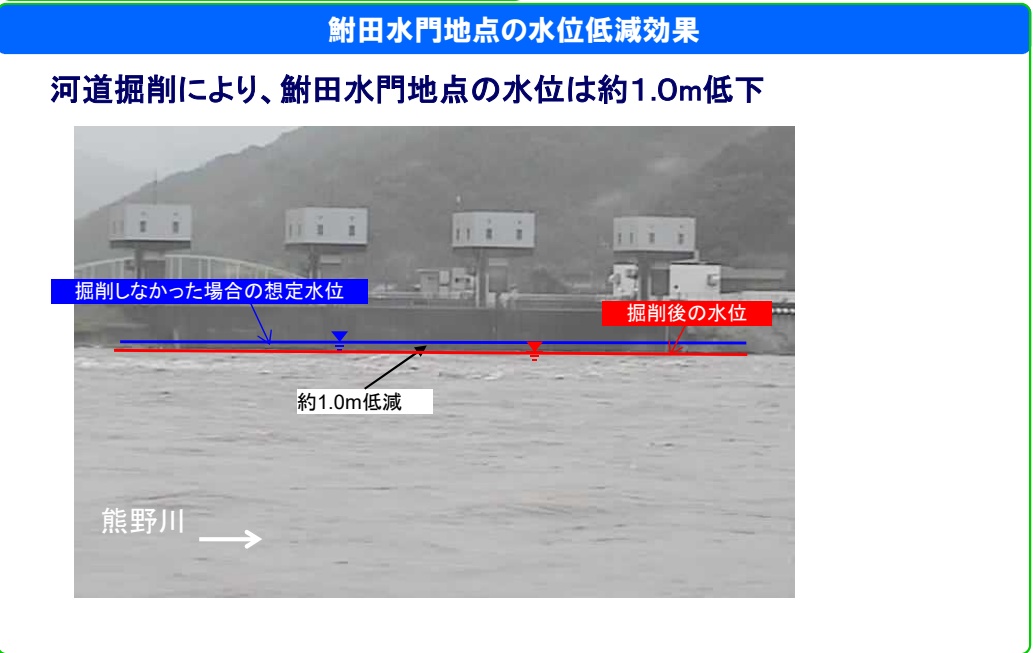
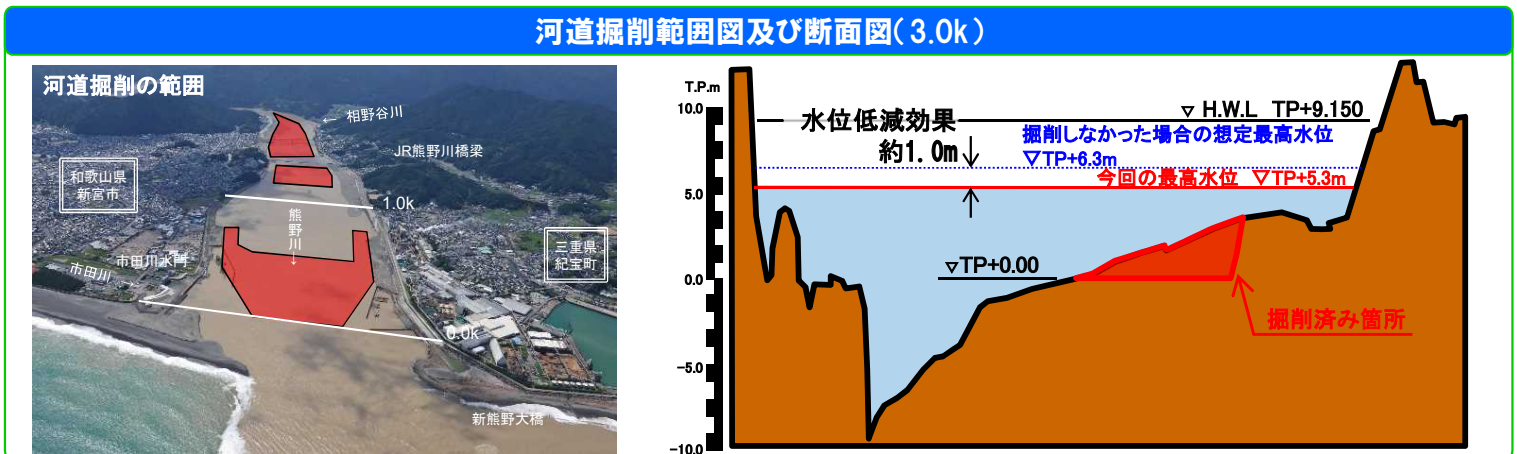
三重県南牟婁郡紀宝町高岡 高岡橋上流



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

河川整備による効果 新宮川水系相野谷川

- 平成23年9月に発生した台風第12号豪雨災害を受け、熊野川では河川激甚災害対策特別緊急事業及び緊急対策特定区間事業による河道掘削を実施。
- 約305万m³の河道掘削により熊野川の水位を約1.0m低下。(3.0k付近)
- 熊野川の水位低減効果により^{ふなだ}鮎田水門の閉鎖もなく、相野谷川の浸水被害軽減に寄与。

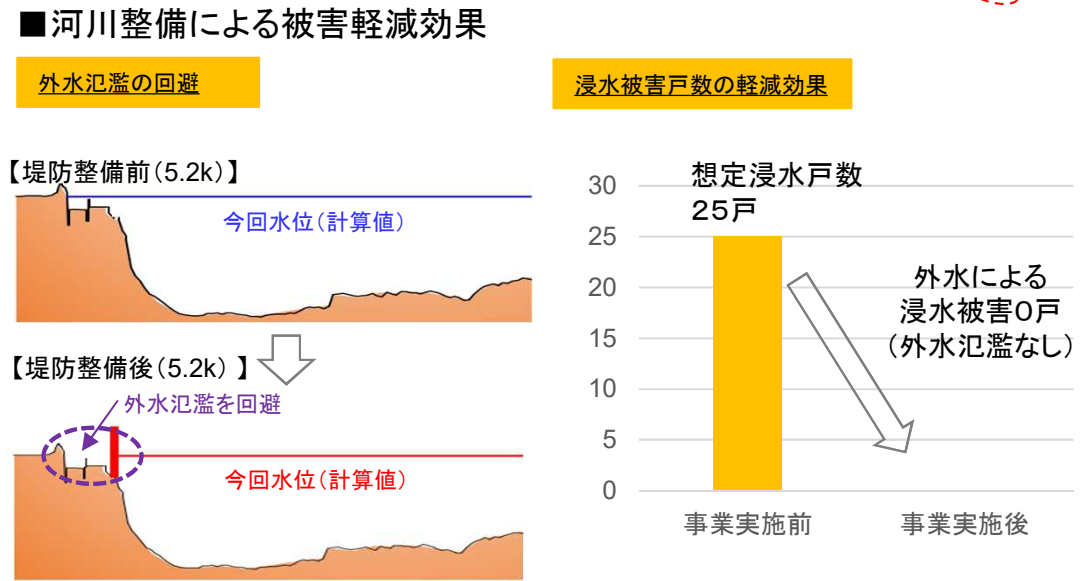
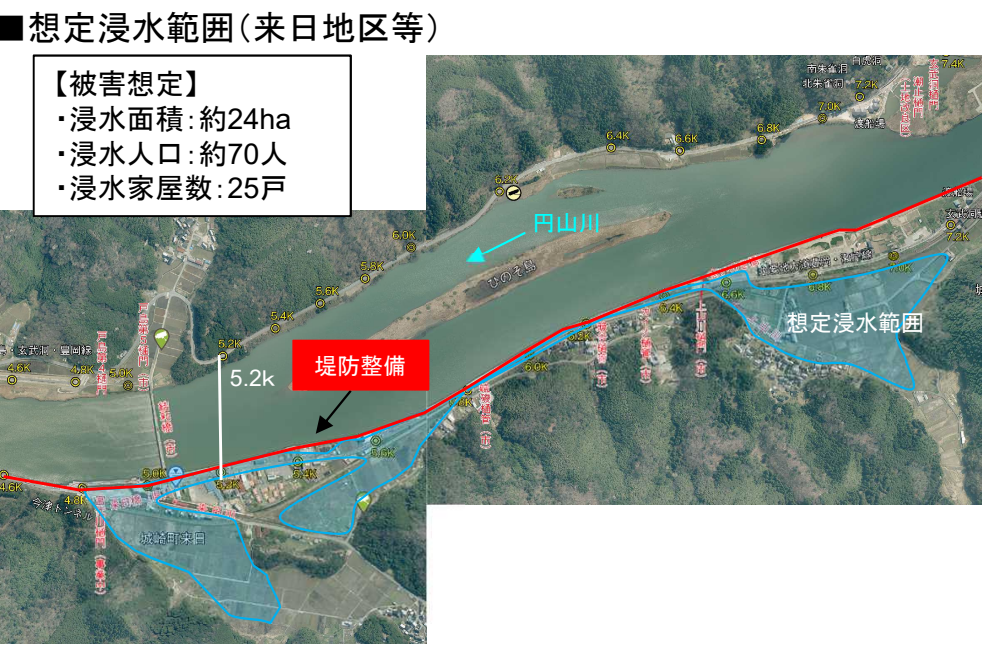
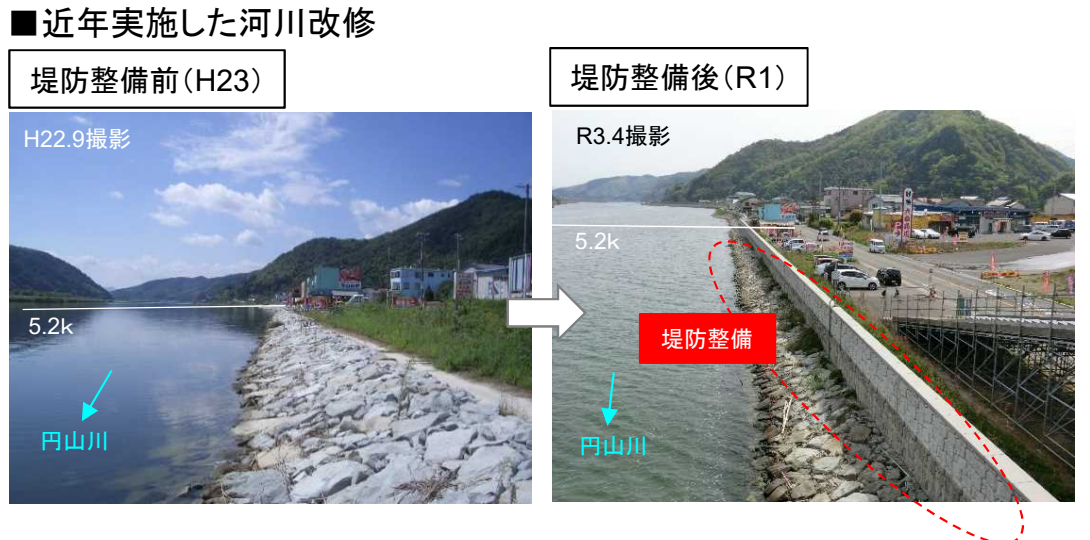
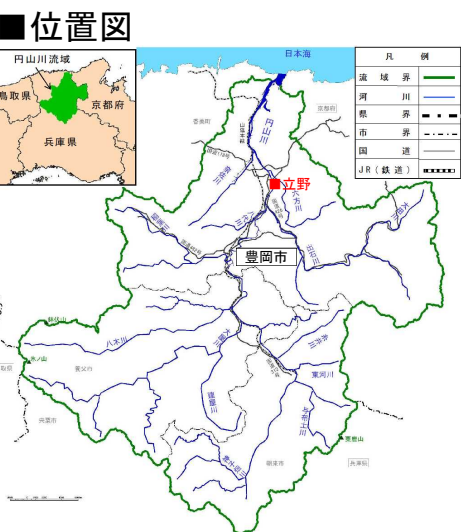


※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

河川整備による効果 円山川水系円山川

○円山川流域では台風第7号により、立野上流域平均雨量が232mm/24hrに達し、立野水位観測所(兵庫県豊岡市)では、避難判断水位を超過。

○円山川では、近年の堤防整備により、5.2k地点(来日地区等)では、外水氾濫を回避し、**浸水被害(想定被害約25戸)の発生を防止。**



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

河川整備による効果 淀川水系名張川

○名張川では、台風第7号による洪水では、名張水位流量観測所において、氾濫注意水位を超える6.4mを記録した。
 ○令和元年度より名張かわまちづくり一体型浸水対策事業を実施しており、今回の出水では河道掘削、樹木伐採により名張水位流量観測所地点の**水位を約60cm低減**。
 ※ダム水位低減効果については現在精査中。

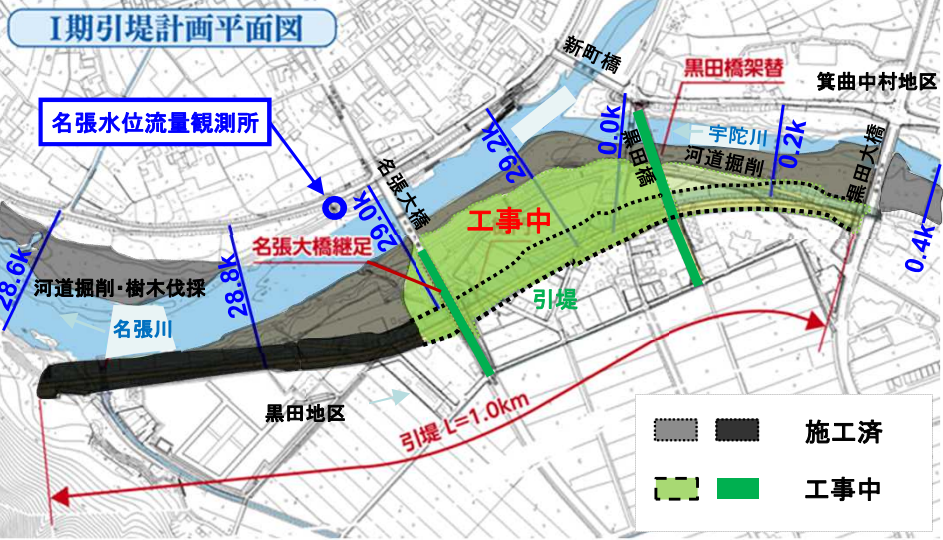
■位置図



■出水状況 (名張大橋上流)

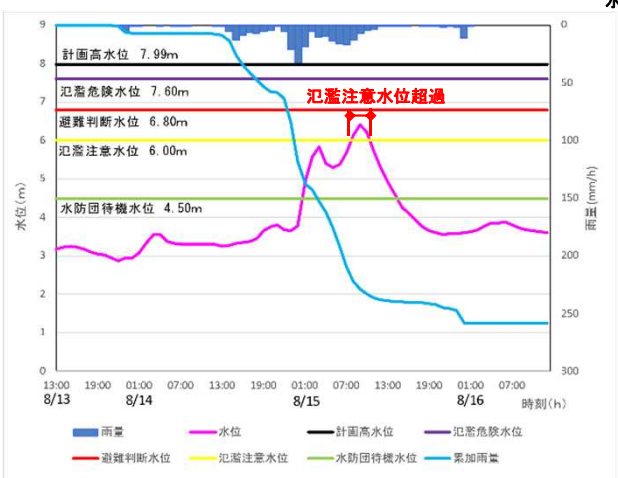


■名張かわまちづくり一体型 浸水対策事業平面図



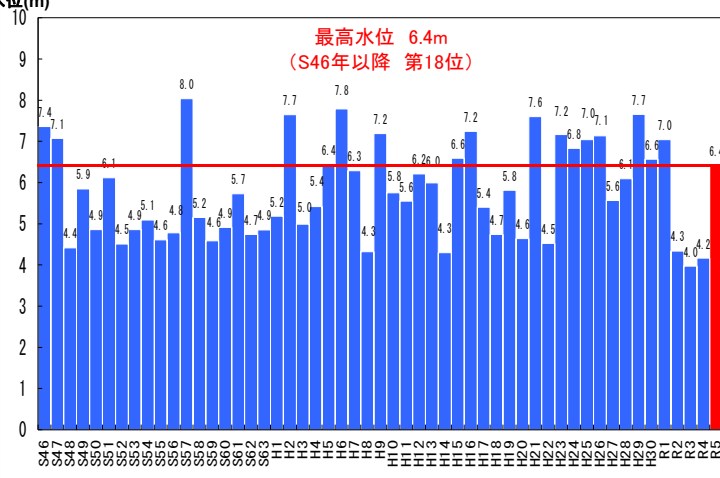
■観測水位と雨量

(名張水位流量観測所・名張上流域雨量)

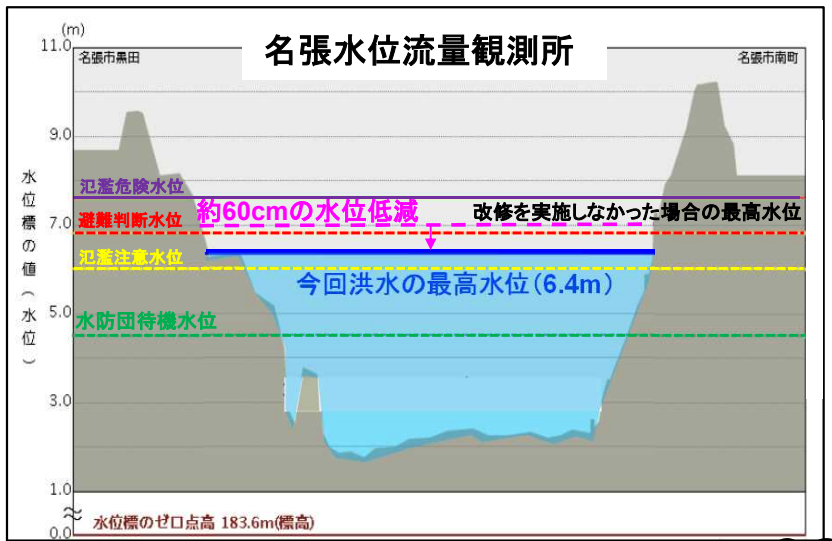


■過去の年最大水位との比較

(名張水位流量観測所)



■水位低減効果



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

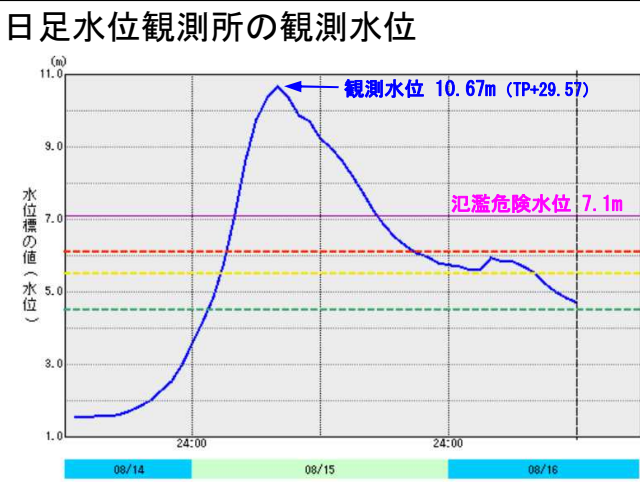
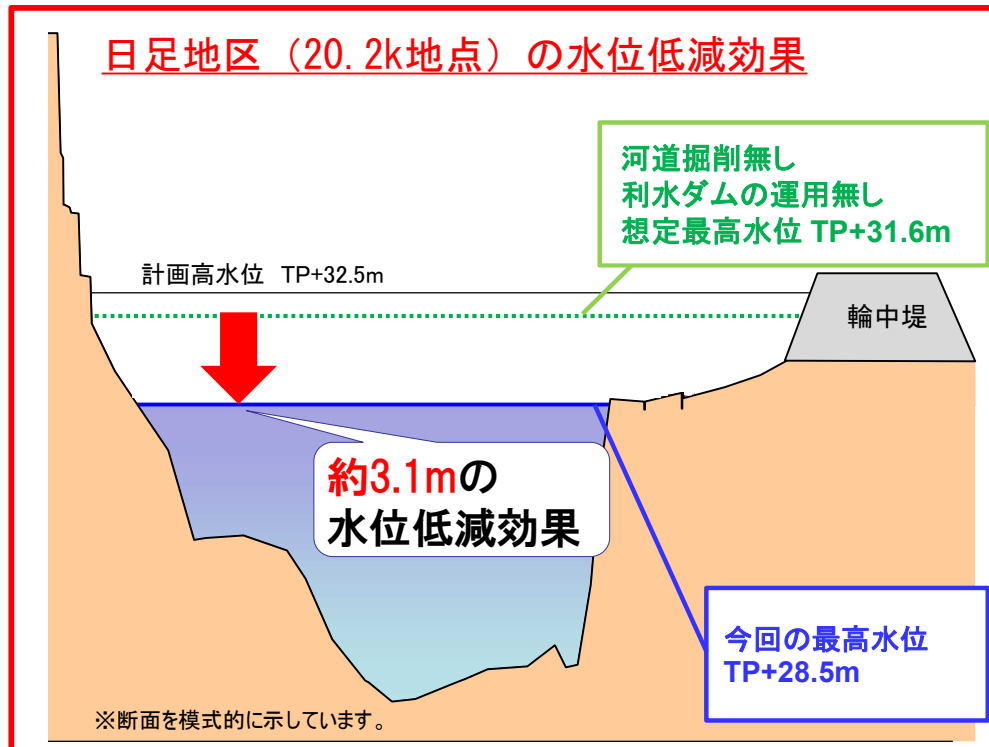
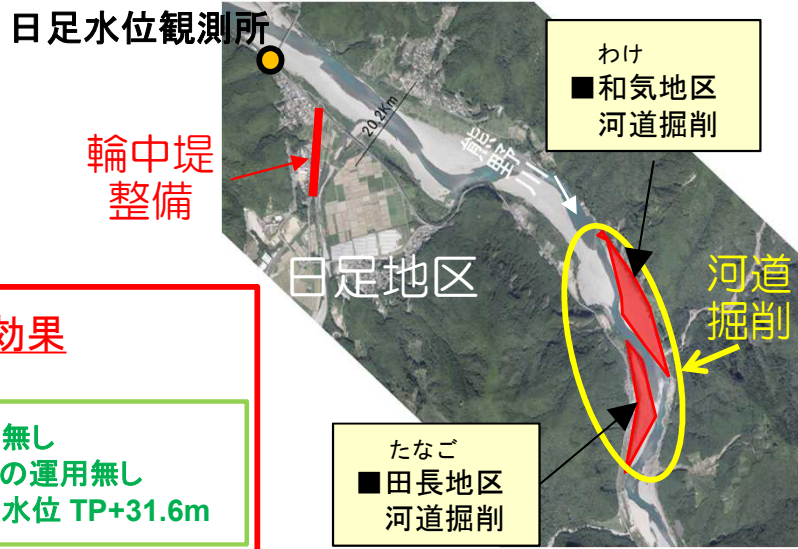
和歌山県・三重県の河川整備と利水ダム(池原ダム・風屋ダム)による効果 新宮川水系

○熊野川では、台風第7号において日足地区の日足観測所で氾濫危険水位7.1mを超過し、10.67mに達したが、これまでの県の河川整備と利水ダムの洪水被害軽減を図る運用により**本川の水位を約3.1m低減し、家屋浸水を回避。**



利水ダムの運用
 ○池原ダム・風屋ダムは、利水ダムであり洪水調節機能を有していないが、治水協定により台風による大規模出水が想定される場合には、ダム下流河川沿川の洪水被害軽減を図るダム運用（事前放流等により貯水位を事前に低下させ空き容量を確保し、洪水時にダム放流量を低減）を実施。

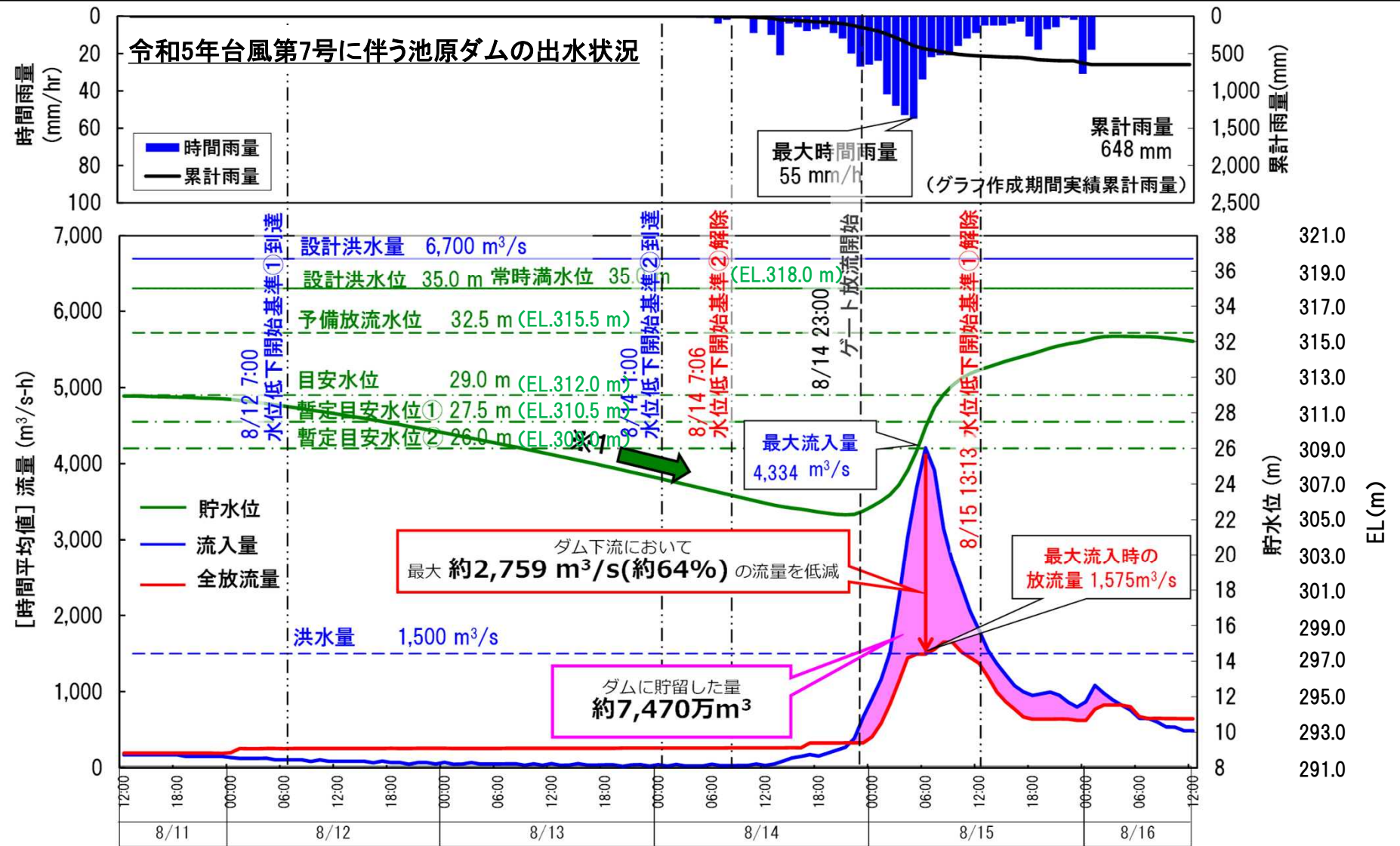
輪中堤整備、河道掘削（和歌山県・三重県）
 ○河川整備計画に基づく河道掘削を実施し、R3に完了。



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

利水ダム(池原ダム)による効果 新宮川水系

○池原ダム・風屋ダムは、利水ダムであり洪水調節機能を有していないが、治水協定により台風による大規模出水が想定される場合には、ダム下流河川沿川の洪水被害軽減を図るダム運用(事前放流等により貯水位を事前に低下させ空き容量を確保し、洪水時にダム放流量を低減)を実施。



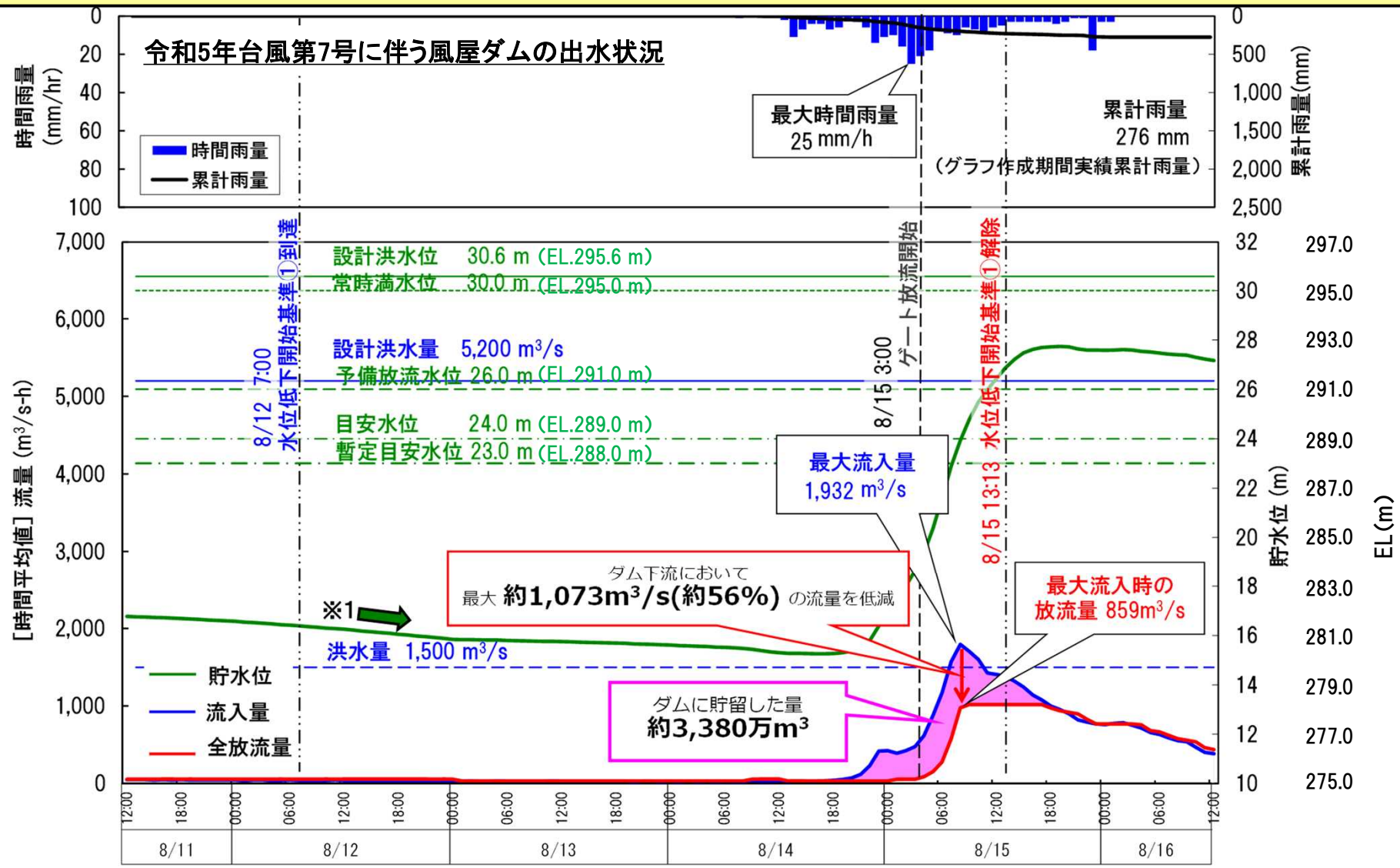
※1: 台風による大規模出水が想定され、台風情報(位置・予測進路)および降雨予測による水位低下開始基準に到達したため、貯水位を発電による事前放流で暫定目安水位①までの低下を終えたが、台風規模や予測進路等の情報から、自主的な判断により可能な限り貯水位の低下を図るべく事前放流を継続した。

※ダム運用のあり方については、毎年、効果および課題を整理し、学識者や関係機関の意見をふまへ検証。

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

利水ダム(風屋ダム)による効果 新宮川水系

○池原ダム・風屋ダムは、利水ダムであり洪水調節機能を有していないが、治水協定により台風による大規模出水が想定される場合には、ダム下流河川沿川の洪水被害軽減を図るダム運用(事前放流等により貯水位を事前に低下させ空き容量を確保し、洪水時にダム放流量を低減)を実施。



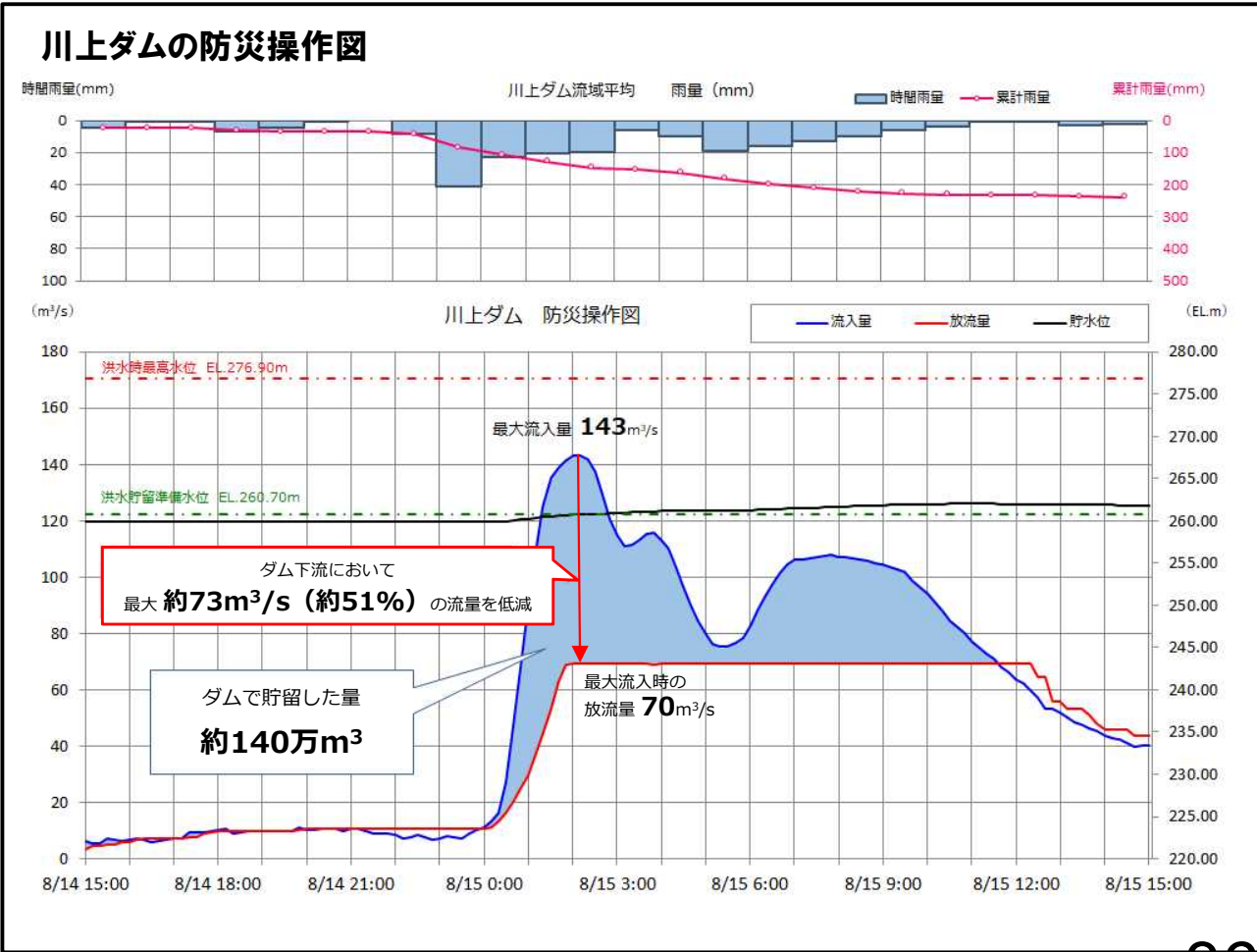
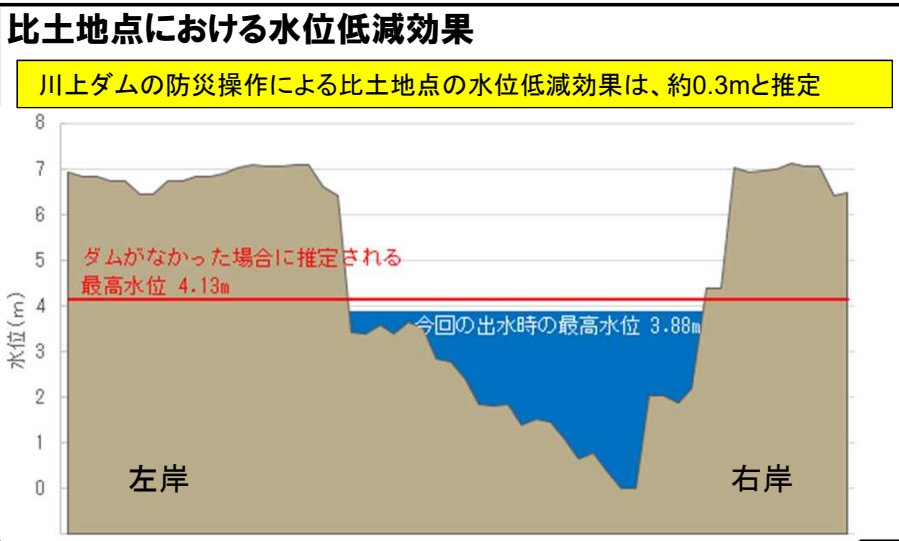
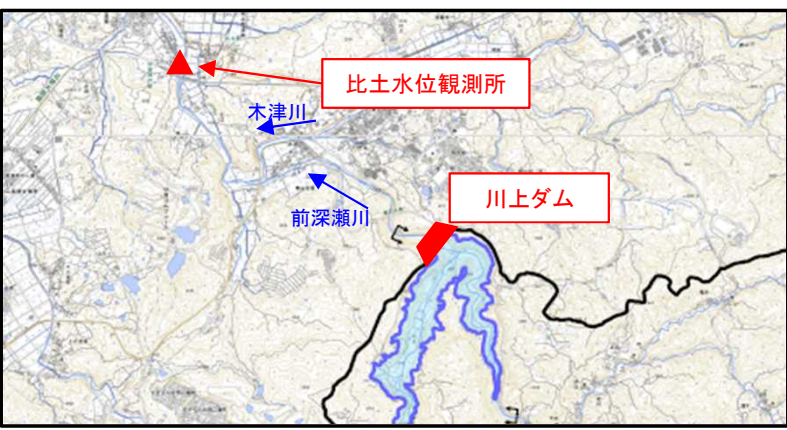
※1: 台風による大規模出水が想定され、台風情報(位置・予測進路)および降雨予測による水位低下開始基準に到達したとき、貯水位は暫定目安水位より低い状態であったが、台風規模や予測進路等の情報から、発電による事前放流で更に低下した。

※ダム運用のあり方については、毎年、効果および課題を整理し、学識者や関係機関の意見をふまえ検証。

※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。

川上ダムによる効果 淀川水系

- 台風第7号の影響により令和5年8月14日5時から8月15日17時にかけて流域平均の総雨量が241mm、時間最大雨量が41mmとなり、川上ダムへの最大流入量は約143m³/sを記録。
- 川上ダムでは、約140万m³の洪水を貯留し、ダム下流の木津川の水位を比土地点(三重県伊賀市比土地先)において約0.3m低下させる効果があったと推定。



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。